

第50回 日本臨床分子形態学会 総会・学術集会

The 50th Annual Meeting of
the Japanese Society for
Clinical Molecular Morphology

講演プログラム・要旨集

メインテーマ

叡智を持って実学を極める
Sophia kai Ergon

会期 2018年 9月7日金・8日土

会場 北里大学大村記念ホール、北里大学薬学部
港区白金 5-9-1

会長 中村 正彦
北里大学薬学部臨床薬学研究・教育センター病態解析学

副会長 寺田 総一郎
江戸川病院健診センター・内視鏡センター

第50回 日本臨床分子形態学会 総会・学術集会

The 50th Annual Meeting of
the Japanese Society for Clinical Molecular Morphology

メインテーマ

叡智を持って実学を極める
Sophia kai Ergon

- 会期 2018年 9月7日金・8日土
- 会場 北里大学大村記念ホール、北里大学薬学部
港区白金 5-9-1
- 会長 中村 正彦
北里大学薬学部臨床薬学研究・教育センター病態解析学
- 副会長 寺田 総一郎
江戸川病院健診センター・内視鏡センター

第50回日本臨床分子形態学会総会・学術集会事務局

北里大学薬学部臨床薬学研究・教育センター 病態解析学
〒108-8641 東京都港区白金5-9-1 TEL & FAX: 03-3446-9036
E-mail: 50thjscmm@mbr.nifty.com

第50回日本臨床分子形態学会総会・学術集会

実行委員・プログラム委員

実行委員

会 長	中村 正彦	北里大学薬学部 臨床薬学研究・教育センター 病態解析学
副 会 長	寺田 総一郎	江戸川病院健診センター・内視鏡センター
事務局長	横森 弘昭	北里大学メディカルセンター 総合内科
プログラム委員長	東 俊文	東京歯科大学歯学部 生化学講座／口腔科学研究センター
幹 事	渡辺 勲史	東海大学医学部附属八王子病院
	塚田 信廣	東京都済生会向島病院
	井上 淳	井上内科診療所
	西崎 泰弘	東海大学医学部 健康管理学
	秋葉 保忠	UCLA 医学部
	Anders Overby	The center of education in Kongsvinger, Kongsvinger, Norway.

プログラム委員

大野 伸彦	自治医科大学医学部 解剖学講座組織学部門
北岡 隆	長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 眼科・視覚科学教室
小路 武彦	長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 組織細胞生物学分野
小林 道也	高知大学医学部 医療学講座 医療管理学分野
斎藤 豪	札幌医科大学 産婦人科学講座
鳥村 拓司	久留米大学医学部 内科学講座 消化器内科部門
永田 浩一	愛知県心身障害者コロニー発達障害研究所 神経制御学部
中西 陽子	日本大学医学部 病態病理学系腫瘍病理学分野
馬場 良子	産業医科大学医学部 第2解剖学講座
原田 憲一	金沢大学医薬保健研究域医学系 人体病理学
原田 大	産業医科大学 第3内科学
菱川 善隆	宮崎大学医学部 解剖学講座 組織細胞化学分野
藤田 守	久留米大学医学部 解剖学講座 顕微解剖 生体形成部門
森谷 卓也	川崎医科大学 病理学
矢野 博久	久留米大学医学部 病理学講座

会長挨拶

“Sophia kai Ergon”



第50回日本臨床分子形態学会総会・学術集会

会長 中村 正彦 北里大学薬学部 臨床薬学研究・教育センター
病態解析学 准教授

ご存知のように、本年7月23日に、埼玉県熊谷市で41.1℃の日本歴代最高気温が記録されました。欧米では蒸し暑い夏はEpon樹脂包埋に適しない気候のため関連した実験はやらない研究室が多いと聞いたことがありますが、最近の日本の気候では樹脂の重合は数ヶ月も無理ではないかとさえ思われ、日本臨床電子顕微鏡学会から日本臨床分子形態学会への移行は気候変動を見越した大変な達見だったのかと、火照った頭で考えておりました。

さて、このたび日本臨床分子形態学会の映えある第50回総会・学術集会を開催させていただくことになり、理事長をはじめ関係各位に心より感謝申し上げます。北里大学としては、はじめての主催であり、また母校の慶應義塾大学としては第14回(1982年)を病理学教室の坂口弘先生が旧日本都市センターで開催されて以来、36年ぶり2回目となります。その頃大学院生として、慶應病院の別館にあったHitachi HS9電子顕微鏡を坂口教授、坂本先生、教室の織田正也先生、宗像良雄先生の指導の元、使わせていただいたのを昨日のように思い出します。

第50回の本学会は2018年9月7日(金)と8日(土)の2日間、北里大学の本部があります港区白金で開催いたします。メイン会場は、薬学部コンベンションホールから改称しました北里大学大村記念ホールで、薬学部の教室も使い開催させていただくことになりました。

本会のメインテーマは、学祖の北里柴三郎博士の言葉であり、大学のモットーである“Sophia kai Ergon 叡智と実践”としました。このギリシャ語の言葉の由来はソクラテスからともいわれ、その言葉のなかに「人間の美德はすべてその実践と経験によっておのずと増え、強まるのである」という名言があり、北里博士の「学者の知識はどんなに革新的で高尚なものであっても、それが一般社会に還元されなければ何の役にもたたない」という持論と一致したのではないかと、考えておりますが、果たして正確な理解かどうかはわかりません。いずれにしても、本会のさまざまな領域の研究者が一堂に集い、共通する真理をもとめて、討議するという主旨と合致することから、テーマに選ばせていただきました。

今回は第50回にあたることから、理事長、副理事長とご相談し大先輩の谷川久一先生、畑俊夫先生、円山英昭先生による鼎談を企画しております。特別講演は、4名の方にお願

いしております。まず、広い視野を持つことの重要性の観点から、読売新聞医療部 館林牧子さんに「平成年間の医療記事の移り変わり」と題する講演をお願いしております。また、形態学とともに新たな視点としての重要性ということから、エピゲノムの権威の慶應義塾大学医学部病理学教室の金井弥栄先生に「病理組織検体のオミックス解析に見るがんの多様性」をお話いただく予定です。また、大村智栄誉教授の流れを汲む供田 洋先生には、「動物細胞内中性脂質蓄積を指標とした新規創薬素材の探索」についてお話し頂き、薬学の深淵に迫っていただきます。また、ご専門の微生物学に加え、北里柴三郎記念館においてその生涯を研究され、故郷の小国町から熊本まで徒歩で辿られたご経験を持つ檀原宏文先生に、その旅を経て得られた北里柴三郎論をお願いしました。

シンポジウムとしては、ゲノムと肝臓の二つを取り上げました。それぞれ、さまざまな観点からの演題が発表されます。ワークショップは、病理および婦人科領域のテーマを取り上げました。4つともプログラム委員の先生方のご尽力により面白い演題が集まっており、議論が盛り上がるのではと期待しております。

新基軸として、Help me corner をもうけました。若い先生方の研究の発展を手助けできればという考えで、長期構想委員会から提案されたものであり、どういう質問があつまると注目に値しております。

学会の活性度は、一般演題を担当される若い先生方の活気のある発表がどのくらいあるかに大きく依存していると思います。そこで今回は、僭越乍全で口頭発表とさせていただきます。優秀演題賞選定の対象ともなりますので、宜しくお願い申し上げます。

また、学会の合間にお時間がありましたら、新装なりました北里柴三郎記念館を通常より延長し、夜 6時半まで開けていただいておりますので、歴史的な展示をご覧くださいと思います。

副会長の寺田総一郎先生、事務局長の横森弘昭先生、プログラム委員長の東俊文先生と十数回集まっていろいろ企画を練りました。二日間の会期を通して、なにか皆様方の今後のさらなる発展の一助になる点があればと期待しております。

みなさまのご参加をこころよりお待ち申し上げます。

平成30年8月吉日

副会長挨拶

ご挨拶



第50回日本臨床分子形態学会総会・学術集会

副会長 寺田 総一郎 江戸川病院健診センター・内視鏡センター
センター長

この度、第50回日本臨床分子形態学会総会・学術集会の副会長を務めさせていただきます寺田総一郎と申します。第50回という輝かしい歴史のある今学会の準備を、中村会長、横森事務局長、東プログラム委員長とともに懸命に進めております。

振り返れば、以前の本学会では会場にあふれんばかりの非常に多くの参加者が見られましたが、昨今は会員数や参加者も減少傾向にあり、以前のような光景は見られないようになりました。しかしながら、質の高い演題発表や discussion が行われ、形態学を専門の一つとする私にとっても今後はそう悲観するものではないと思っています。今後、知力・体力の充実した若い先生方の発奮、努力は当然必要ですが、このような基礎医学・臨床医学をまたぐ横断的な学会の出席や発表を通じて、ご自分の motivation を高め、ヒントを得、さらなる研究・飛躍に結び付けることも重要です。また、我が国がこの競争世界の中で科学立国を目指すならば、英文機関誌を持つ本学会こそ、国を挙げての支援も必要なこととは言うまでもありません。

今回は、特別講演、シンポジウム、ワークショップを揃えましたが、ランチョンセミナーも3題あり、一部時間の重複はありますが、胃、腸、肝臓と消化器三大臓器を網羅したプログラムとなっております。

最近、東京文化会館で日本人による『クレオパトラ』のバレエを鑑賞しました。私のようなバレエ門外漢でも、主役の女性の卓越した技術・表現力の凄さに度肝を抜かれ、日本のバレエもここまでできたのかと驚嘆し、深い尊敬の気持ちをもちました。分野は違えども本学会も他の先生が聞き、目を丸くするような発表がもっとあればいいなあと考えています。

末筆となりましたが、先生方の益々のご発展を心よりお祈り申し上げますと同時に、多くの皆様と東京でお会いできることを楽しみにしております

交通アクセス



北里大学白金キャンパス（薬学部）へのアクセス

【渋谷駅（JR・私鉄・地下鉄）】

東口下車、都営バス（田 87 系統：渋谷－田町間）田町駅行15分 北里研究所前下車

【恵比寿駅（JR・地下鉄日比谷線）】

東口下車、都営バス（田 87 系統）田町駅行7分 北里研究所前下車

【広尾駅（地下鉄日比谷線）】

天現寺方面（出口1、2）下車、徒歩10分

【田町駅（JR）・三田駅（地下鉄浅草線・三田線）】

三田口下車、都営バス（田 87 系統）渋谷駅行15分 北里研究所前下車

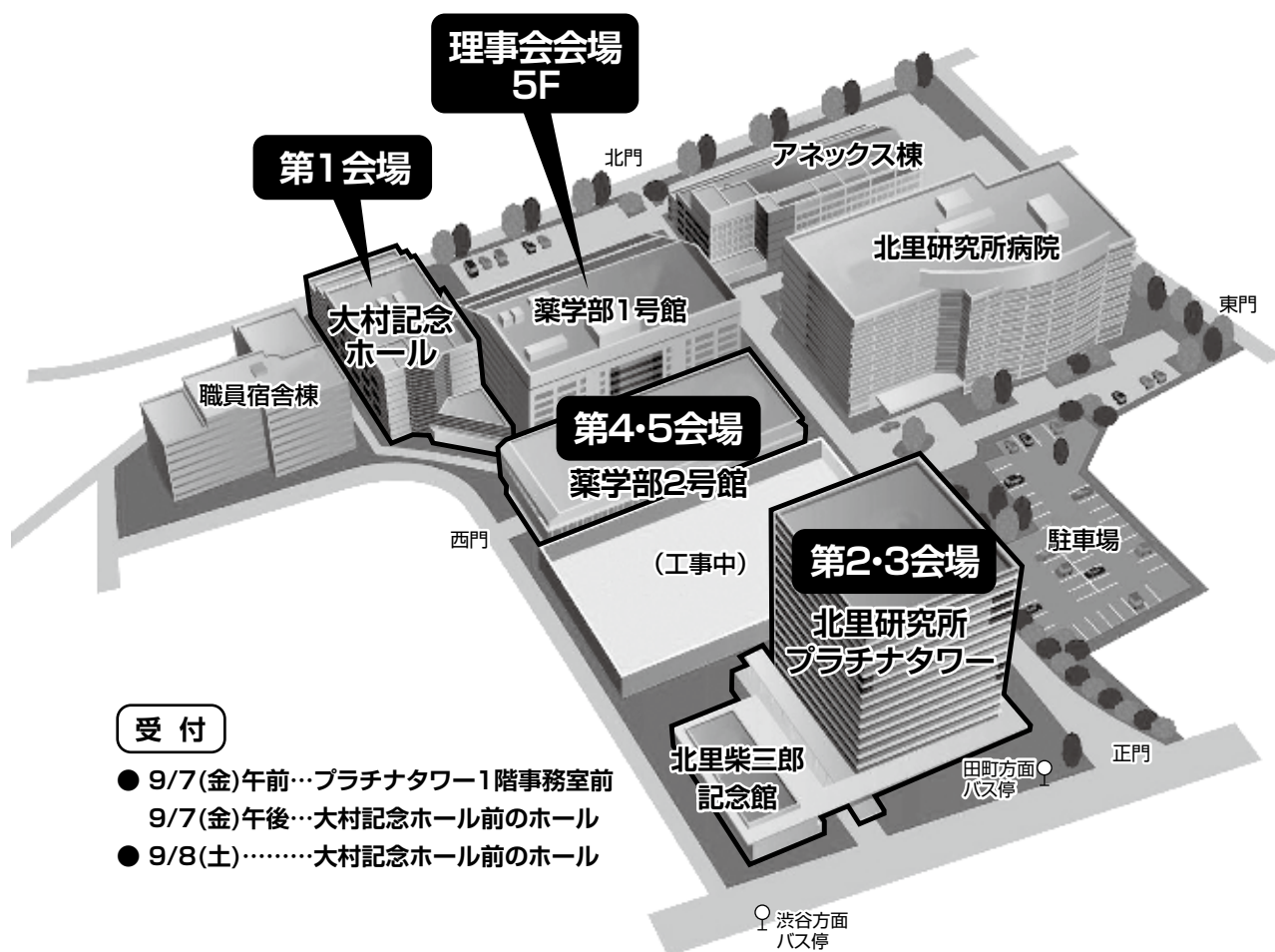
【白金高輪駅（地下鉄南北線・三田線）】

出口3番下車、徒歩約10分または都営バス（田 87 系統）渋谷駅行4分 北里研究所前下車

※白金高輪駅から徒歩でご来場の際は、都営バス（田 87 系統渋谷駅行）路線道路を渋谷方向へ直進ください。

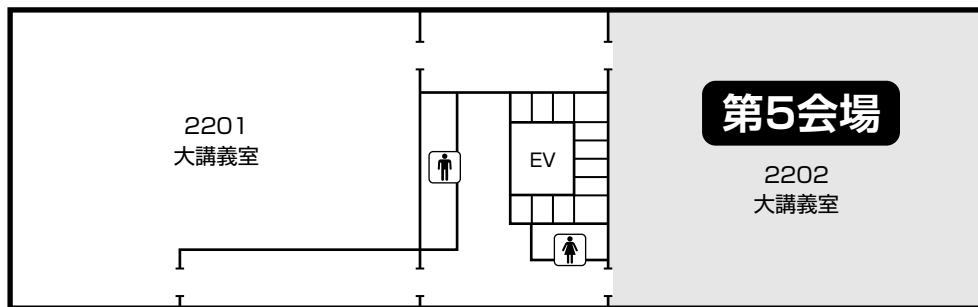
※タクシーでは、恵比寿駅東口から 600 円、田町駅三田口（西口）、品川駅高輪口から 1200 円程度です。

キャンパスマップ

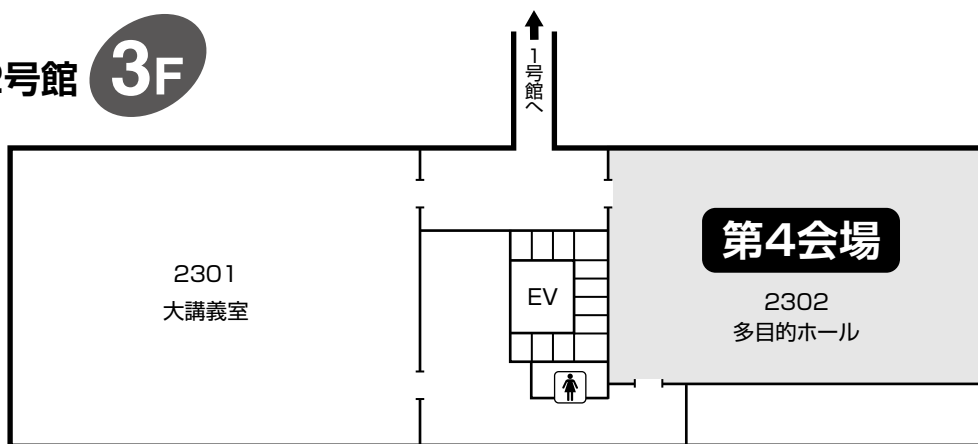


会場案内図

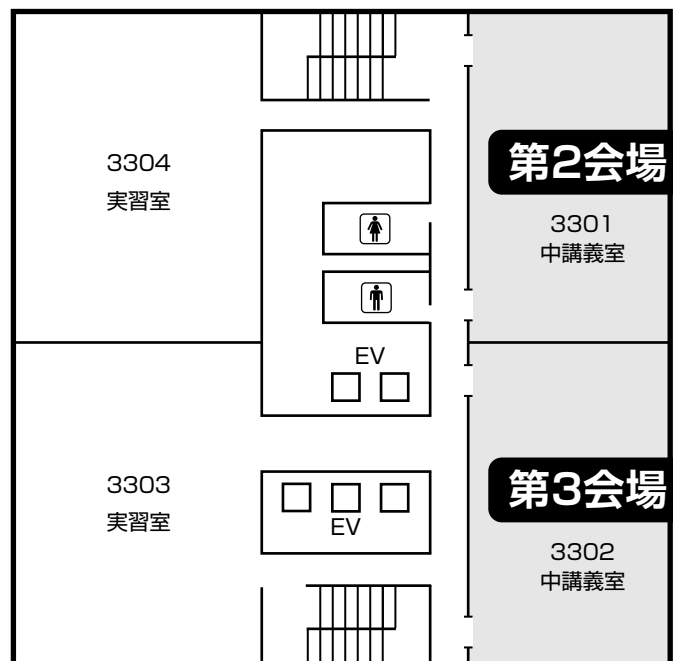
2号館 2F



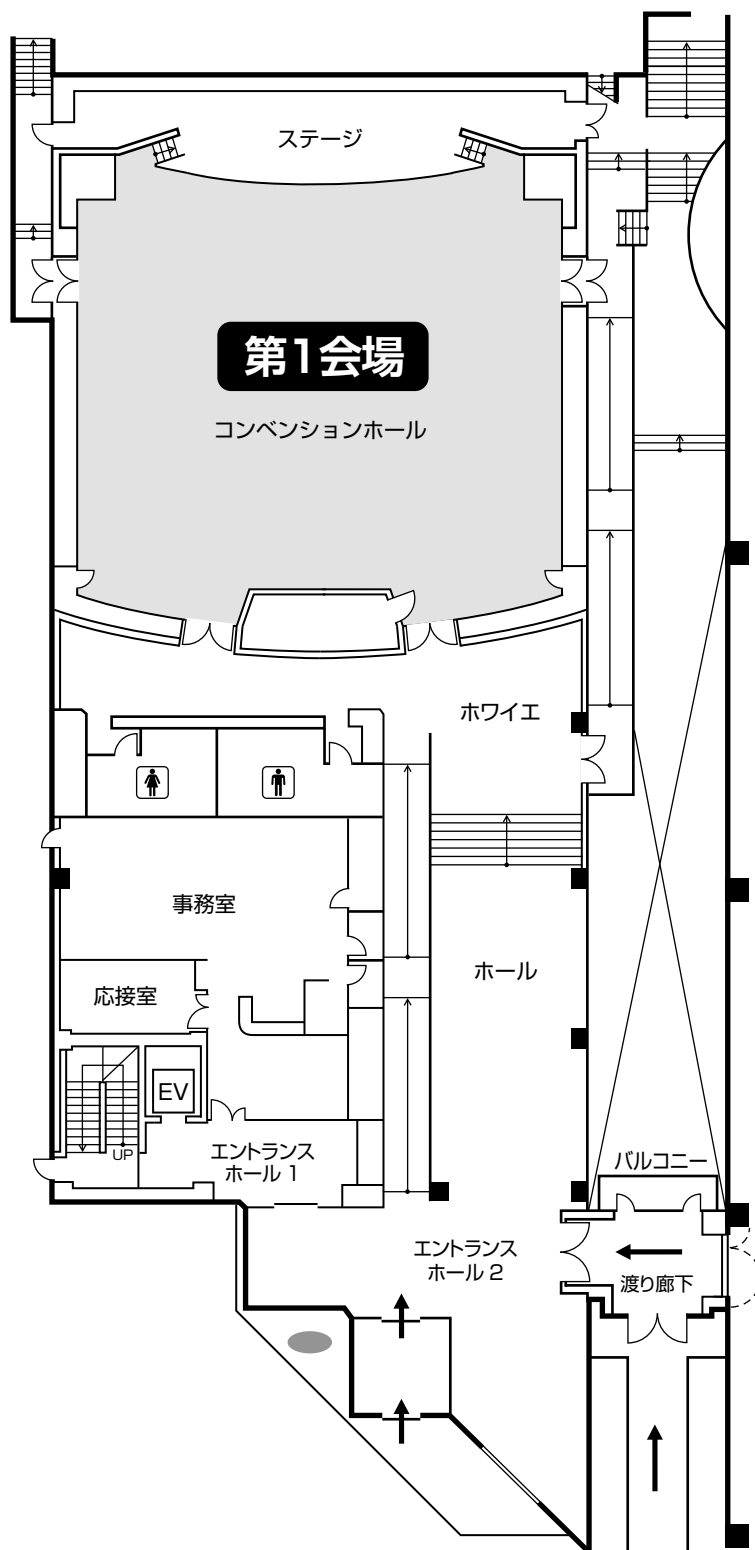
2号館 3F



プラチナタワー 3F



大村記念ホール



日 程 表

1日目 9月7日金

	第1会場 大村記念ホール	第2会場 プラチナタワー 3F 3301	第3会場 プラチナタワー 3F 3302	第5会場 2号館 2F 2202	第4会場 2号館 3F 2302
8:00	8:00~18:30 参加受付				
9:00	演者：藤乗 嗣泰 古市 将人 黒瀬 浩文 石光 晃	8:55~ 開会の辞 9:00~9:40 一般演題1 腎 臓 座長：菱川 善隆、藤乗 嗣泰 コメンテーター：藤田 守 9:40~11:30 ワークショップ2 女性生殖器細胞の 形態と機能 司会：斎藤 豪、奈須 家栄 演者：秋元 太志、幸野 貴之 水野 由美、山口 宗影 平川 東望子 11:30~12:20 ランチョンセミナー1 原発性硬化性胆管炎の 病態に迫る 司会：横森 弘昭 演者：金井 隆典 共催：アッヴィ合同会社	9:00~10:00 一般演題2 神 経 座長：伊東 秀記、北岡 隆 コメンテーター：永田 浩一 演者：伊東 秀記、永田 浩一 酒井 一由、山本 直樹 井上 大輔、小池 太郎 10:00~10:40 一般演題3 歯 座長：野村 武史 コメンテーター：森田 圭一 演者：高田 佳奈、安陪 由思 星野 立樹 10:40~11:30 一般演題4 Gorlin症候群 座長：片倉 朗、佐々木 亮 コメンテーター：東 俊文 演者：森田 奈那、星野 照秀 小野寺 晶子、森田 圭一 11:30~12:20 ランチョンセミナー2 今知っておきたい Silent GI Bleeding と GERD 司会：寺田 総一郎 演者：鈴木 剛 共催：アストラゼネカ株式会社 第一三共株式会社		9:00 ~ 18:00 企 業 展 示
10:00					
11:00					
12:00					
13:00	13:00~13:30 会長講演 動物のヘリコプター friend or foe 司会：向坂 彰太郎 演者：中村 正彦 13:30~14:30 50周年特別企画 司会：中村 正彦 特別発言：向坂 彰太郎 演者：谷川 久一、畑 俊夫、 円山 英昭 14:30~16:30 シンポジウム1 ゲノムで見える病態 司会：東 俊文、石川 俊平 演者：石川 俊平、柳 茂 田村 和朗、玉利 真由美 松井 英則、秋葉 保忠 岡田 尚巳、高山 吉永 東 俊文				12:30~13:00 Help me corner 1
14:00					
15:00					
16:00			演者：谷川 雅彦、水落 伸治 塩賀 太郎、中山 正道 林 芳弘、円山 英昭 黒田 陽子	15:30~16:40 一般演題5 肝 臓 座長：寺田 総一郎、 釈迦堂 敏 コメンテーター： 高原 照美 16:40~17:40 一般演題6 技法、その他	企 業 展 示
17:00	16:30~17:20 特別講演1 平成年間の医療記事 の移り変わり 司会：織田 正也 演者：館林 牧子 17:20~18:00 特別講演2 「肥後国阿蘇郡小国郷 北ノ里」と北里柴三郎 司会：片淵 秀隆 演者：檀原 宏文		座長：中西 陽子、福田 覚 コメンテーター：高木 孝士 演者：千田 隆夫、向井 俊平 向井 俊平、清水 孝恒 中山 宏文、市野瀬 志津子		
18:00				司会：小路 武彦	18:00~18:30 Help me corner 2
18:30~20:30 会 員 懇 親 会 (会場：学生食堂)					

2日目 9月8日(土)

	第1会場 大村記念ホール	第2会場 プラチナタワー 3F 3301	第3会場 プラチナタワー 3F 3302	第5会場 2号館 2F 2202	第4会場 2号館 3F 2302
8:00	8:00~18:30 参加受付				
9:00	9:00~11:00 シンポジウム 2 形態学を基盤にした肝疾患研究の 進歩と臨床応用 司 会：横森 弘昭、鳥村 拓司 演 者：中村 徹、本間 雄一、柳川 享世 安藤 航、林 芳弘、柴田 恭明 近藤 礼一郎 特別発言：渡辺 勲史	座長：梶原 健、田代 浩徳 コメンテーター：坂口 勲 演者：楠木 慎、相良 昭仁 渡辺 次郎		8:50~9:30 一般演題 7 生殖器、乳腺	9:00 ~ 16:00 企 業 展 示
10:00				9:30~10:30 一般演題 8 腫瘍 座長：森谷 卓也、並川 努 コメンテーター：矢野 博久 演者：原田 博史、金野 匠 福山 隆、梅本 陵平 阪上 尊彦、中西 陽子	
11:00	11:00~12:00 特別講演 3 動物細胞内中性脂質蓄積を指標とした 新規創薬素材の探索 司会：小路 武彦 演者：供田 洋	座長：大野 伸彦、馬場 良子 コメンテーター：塚田 信廣 演者：小寺 祐貴、大澤 浩 大膳 祐治		10:30~11:00 一般演題 9 呼吸器、消化器2	
12:00		演者：高橋かおり、平松 範子 萩原 治夫、田中 秀幸 眞部 優作		11:00~11:50 一般演題 10 造血器、免疫、その他 座長：千田 隆夫、山本 直樹 コメンテーター：山崎 等	
				12:00~12:50 ランチョンセミナー 3 C型肝炎/肝硬変への基礎的、 臨床的アプローチの実際	
13:00	13:00~13:30 総会、評議員会		司会：寺田 総一郎 演者：河田 則文 共催：MSD 株式会社		
14:00	13:30~14:00 奨励賞受賞講演 ヒト脂肪幹細胞と多血小板血漿・ 増殖因子を用いた再生医療研究	司会：斎藤 豪 演者：覚道 奈津子			
15:00	14:00~15:00 特別講演 4 病理組織検体のオミックス解析に見る がんの多様性 司会：中村 正彦 演者：金井 弥栄				
16:00	15:00~17:00 ワークショップ 1 遺伝子と形態学との連関： 遺伝子変異に基づく病理診断学 司会：原田 憲一、佐藤 康晴 演者：百瀬 修二、田中 由美子 山元 英崇、斉藤 光次				
17:00	17:00~17:20 演題賞表彰式、閉会の辞				
18:00					

司会・座長一覧

会長講演

日 程	時 間	会 場	セッション名	司 会
9月7日金	13:00～13:30	第1会場	会長講演	向坂 彰太郎(理事長、福岡大学)

特別講演

日 程	時 間	会 場	セッション名	司 会
9月7日金	16:30～17:20	第1会場	特別講演1	織田 正也(国際医療福祉大学)
	17:20～18:00		特別講演2	片渕 秀隆(熊本大学)
9月8日土	11:00～12:00		特別講演3	小路 武彦(長崎大学)
	14:00～15:00		特別講演4	中村 正彦(北里大学)

奨励賞受賞講演

日 程	時 間	会 場	セッション名	司 会
9月8日土	13:30～14:00	第1会場	奨励賞受賞講演	斎藤 豪(札幌医科大学)

シンポジウム

日 程	時 間	会 場	セッション名・セッションテーマ	司 会
9月7日金	14:30～16:30	第1会場	シンポジウム1 〔ゲノムで見える病態〕	東 俊文（東京歯科大学）
				石川 俊平（東京医科歯科大学）
9月8日土	9:00～11:00		シンポジウム2 〔形態学を基盤にした肝疾患研究の 進歩と臨床応用〕	横森 弘昭（北里大学）
				鳥村 拓司（久留米大学）

ワークショップ

日 程	時 間	会 場	セッション名・セッションテーマ	司 会
9月8日土	15:00～17:00	第1会場	ワークショップ1 [遺伝子と形態学との関連： 遺伝子変異に基づく病理診断学]	原田 憲一(金沢大学)
				佐藤 康晴(岡山大学)
9月7日金	9:40～11:30	第2会場	ワークショップ2 [女性生殖器細胞の形態と機能]	斎藤 豪(札幌医科大学)
				奈須 家栄(大分大学)

ランチョンセミナー

日 程	時 間	会 場	セッション名	司 会
9月7日金	11:30～12:20	第2会場	ランチョンセミナー1	横森 弘昭(北里大学)
	11:30～12:20	第3会場	ランチョンセミナー2	寺田 総一郎(江戸川病院)
9月8日土	12:00～12:50	第5会場	ランチョンセミナー3	寺田 総一郎(江戸川病院)

50周年特別企画

日 程	時 間	会 場	セッション名	司 会
9月7日金	13:30～14:30	第1会場	50周年特別企画	中村 正彦(北里大学)

Help me corner

日 程	時 間	会 場	セッション名	司 会
9月7日金	12:30～13:00	第4会場	Help me corner 1	原田 大(産業医科大学)
	18:00～18:30		Help me corner 2	小路 武彦(長崎大学)

一般演題

日 程	時 間	会 場	セッション名	座 長
9月7日 金	9：00～9：40	第2会場	一般演題1 〔 腎臓 〕	菱川 善隆（宮崎大学）
				藤乗 嗣泰（東京大学）
	9：00～10：00	第3会場	一般演題2 〔 神経 〕	伊東 秀記（愛知県心身障害者コロニー発達障害研究所）
				北岡 隆（長崎大学）
	10：00～10：40		一般演題3 〔 歯 〕	野村 武史（東京歯科大学）
				10：40～11：30
	佐々木 亮（東京女子医科大学）			
	15：30～16：40		第5会場	一般演題5 〔 肝臓 〕
		釈迦堂 敏（福岡大学）		
	16：40～17：40	一般演題6 〔 技法、その他 〕		中西 陽子（日本大学）
福田 覚（東京大学）				
9月8日 土	8：50～9：30	第5会場	一般演題7 〔 生殖器、乳腺 〕	梶原 健（埼玉医科大学）
				田代 浩徳（熊本大学）
	9：30～10：30		一般演題8 〔 腫瘍 〕	森谷 卓也（川崎医科大学）
				並川 努（高知大学）
	10：30～11：00		一般演題9 〔 呼吸器、消化器2 〕	大野 伸彦（自治医科大学）
				馬場 良子（産業医科大学）
	11：00～11：50		一般演題10 〔 造血器、免疫、その他 〕	千田 隆夫（岐阜大学）
				山本 直樹（藤田保健衛生大学）

コメンテーター一覧

一般演題

日 程	時 間	会 場	セッション名	コメンテーター
9月7日 金	9:00～9:40	第2会場	一般演題1 [腎臓]	藤田 守(久留米大学)
	9:00～10:00	第3会場	一般演題2 [神経]	永田 浩一(愛知県心身障害者コロニー発達障害研究所)
	10:00～10:40		一般演題3 [歯]	森田 圭一(東京医科歯科大学)
	10:40～11:30		一般演題4 [Gorlin 症候群]	東 俊文(東京歯科大学)
	15:30～16:40	第5会場	一般演題5 [肝臓]	高原 照美(富山大学)
	16:40～17:40		一般演題6 [技法、その他]	高木 孝士(昭和大学)
9月8日 土	8:50～9:30	第5会場	一般演題7 [生殖器、乳腺]	坂口 勲(熊本大学)
	9:30～10:30		一般演題8 [腫瘍]	矢野 博久(久留米大学)
	10:30～11:00		一般演題9 [呼吸器、消化器2]	塚田 信廣(済生会向島病院)
	11:00～11:50		一般演題10 [造血器、免疫、その他]	山崎 等(北里大学)

学会参加者へのご案内

1. 参加受付

参加受付は、9月7日午前と9月7日午後～9月8日で異なりますので、ご注意ください。会場内では参加証のご着用をお願いいたします。

9月7日(金)	北里大学薬学部プラチナタワー 1階にて	8:00～12:00
	北里大学大村記念ホール前	12:00～18:30
9月8日(土)	北里大学大村記念ホール前	8:00～16:30

2. 参 加 費

学会受付にて参加費をお支払いいただき、領収書兼参加証をお受け取りください。お支払いは現金のみとなりますので、ご注意ください。

【参加費】 会員・非会員：12,000円
大 学 院 生：3,000円
学 部 学 生：無料(学生証を受付でご提示ください)

3. 講演プログラム・要旨集(本誌)

会員および演者の方には事前にご送付しておりますので、当日ご持参ください。別途ご希望の方には一部3,000円で当日受付にて販売いたしますが、数に限りがございますのでご了承ください。

4. 機器展示、クローク、ドリンクサービス

第4会場(2302 多目的ホール)にて行っています。

クロークについては、両日ともお引き取り忘れのないようお願いいたします。

お預かり時間：9月7日(金) 8:20～18:30
9月8日(土) 8:00～16:30

5. 呼び出し

原則として、会場内の放送等による呼び出しは行いません。

6. 会員懇親会“寿司とクイズの夕べ”

日 時：9月7日(金) 18:30～

会 場：薬学部2号館 1階 学生食堂

参加費：お一人 5,000円

参加ご希望の方は、学会受付にて参加申し込みおよび参加費のお支払いをお願いいたします。

7. 学会事務局

日本臨床分子形態学会の入会および年会費のお支払いをご希望の方は、参加受付にあります日本臨床分子形態学会事務局にて手続きを行ってください。

8. 会期中のご連絡先

第50回日本臨床分子形態学会総会・学術集会 学会本部
薬学部プラチナタワー7階 病態解析学教室
Tel：03-3446-9036

講演規定

発表時間

シンポジウム、ワークショップは、各座長の指示に従ってください。

【一般口演】 発表7分、討論3分

座長の先生方へ

担当セッション開始30分前までに、総合受付内「座長受付」にて受付をお済ませください。

受付後、担当セッション開始10分前までに次座長席におつきください。

セッションの進行は座長にお任せいたしますので、発表者持ち時間を厳守の上、所定の時間内に終了するよう宜しくお願いいたします。

口演発表形式について

- 1) 使用言語は、日本語ないし英語とします。
- 2) 発表形式は、コンピューター(PC)使用のみとさせていただきます。
 - ・データまたはPC 本体お持ち込みでのご発表となります。
 - ・スライド枚数には制限はございませんが、発表時間内に終了できるようご配慮ください。
 - ・スライド操作は、演壇上のモニターを見ながら、ご自身でマウスおよびキーボードを操作いただきます。
 - ・PowerPoint の発表者ツールを使用しての発表はできませんので、ご注意ください。
- 3) 講演データのみをお持ちになる場合
本会では以下の OS、アプリケーション、動画ファイルに対応しています。
 - ・OS：Windows7（他の Windows OS でも対応可能）
 - ・アプリケーション：PowerPoint 2003・2007・2010・2013
 - ・動画ファイル：Windows Media Player（初期コーデック）で再生可能なデータ
 - ・画面レイアウトのバランス異常や文字化けを防ぐため、OS 標準フォントをご使用ください。
 - ・本会でお持ち込み可能なメディアは、USB フラッシュメモリまたはCD-R のみです。
 - ・プレゼンテーションに他のデータ（静止画・動画・グラフ等）をリンクされている場合は、必ず一つのフォルダにそのリンクデータを保存していただき、データを作成された PC とは別の PC で事前に動作確認をお願いいたします。
 - ・会場の PC へのウイルス感染を防ぐため、事前にメディアのウイルスチェックをお願いいたします。
 - ・PC 受付では、ウイルスセキュリティーを更新し万全を期しておりますが、ウイルスソフトに定義されていない未知のウイルスに感染する場合がございますので、ご了承ください。
 - ・講演データは、PC 受付にて会場内の PC に一旦保存し、学会終了後に全て消去いたします。

4) PC 本体 (Windows・Macintosh) をお持ちになる場合

- プロジェクタとの接続には、D-sub 15 ピン (ミニ) が必要となります。PC 本体の外部出力端子の形状をご確認ください。
- Macintosh を使用される場合はアダプターの持参をお願いいたします。
- スクリーンセーバー、省電力設定、パスワード設定は、予め解除してください。
- 全機種につき AC アダプターを必ずご持参ください。
- 万一の場合に備え、必ず発表データをメディア (USB フラッシュメモリまたは CD-R) でご持参ください。

5) PC データの受付

- 講演の30分前までに、「PC 受付」まで発表メディアあるいは PC をお持ちいただき、発表データの登録を完了してください。
- PC 受付時間・場所
 - 9月7日(金) 8:20～12:00 プラチナタワー3階 第2会場そば
 - 9月7日(金) 12:00～18:00 大村記念ホール前あるいは薬学部2号館2階
(発表会場のそばの受付にいらしてください)
 - 9月8日(土) 8:20～16:30 大村記念ホール前あるいは薬学部2号館2階
(発表会場のそばの受付にいらしてください)

6) 発表演題の利益相反 (conflict of interest : COI) の開示について

発表者は、COI 申告書を事前に学会ホームページよりダウンロードし、当日 PC 受付にご提示ください。また、発表の際、タイトルスライドの次(二枚目)に、COI 状況を開示してください。学会ホームページにフォーマットを公開しておりますので、ご利用ください。
(50thjscmm.versus.jp/index.html/pg298.html)

会議のご案内

関連会議

各種委員会ならびに理事会は9月6日(木)午後に予定しております。

【開催日】 平成30年9月6日(木)

【会 場】 北里大学薬学部1号館5階
(港区白金5-9-1)

長期計画委員会

会 場 薬学部1号館1506教室

時 間 13:00～14:00

庶務委員会

会 場 薬学部1号館1507教室

時 間 13:30～14:30

編集委員会(MMM Editorial Board ミーティング)

会 場 薬学部1号館1505教室

時 間 13:30～14:30

広報委員会

会 場 薬学部1号館1506教室

時 間 14:00～14:30

常任理事会

会 場 薬学部1号館1507教室

時 間 14:30～16:00

理事会

会 場 薬学部1号館1507教室

時 間 16:00～18:00

※財務委員会、学術委員会は開催致しません。

※開催時間が重なっている委員会がございます。

ご了承ください。

第50回日本臨床分子形態学会 評議員会・総会のご案内

第50回日本臨床分子形態学会総会を下記の要項で開催いたしますので、
会員の皆様には是非ご出席いただきたくご案内申し上げます。

記

日 時：平成30年9月8日(土) 13:00～13:30

(第50回日本臨床分子形態学会評議員会と同時開催いたします。)

会 場：北里大学大村記念ホール 第1会場(港区白金5-9-1)

総会議題

1. 庶務委員会に関する件
2. 財務委員会に関する件
 - 平成29年度会計決算報告
 - 平成30年度会計予算(修正案)
 - 平成31年度会計予算(原案)
3. 編集委員会に関する件
4. 学術委員会に関する件
5. 広報委員会に関する件
6. 長期計画委員会に関する件
7. 名誉・功労会員の推薦について
8. 安澄記念賞受賞者について
9. 次々期会長について
10. 第51回学術講演会及び総会について
11. 理事長選挙について
12. その他

第50回日本臨床分子形態学会

会 長 中村 正彦

日本臨床分子形態学会 歴代理事長

初代	安澄 権八郎	1968～1983
第2代	滝 一郎	1984～1999
第3代	森 道夫	2000～2011
第4代	向坂 彰太郎	2012～現在

日本臨床電子顕微鏡学会・日本臨床分子形態学会 歴代会長

日本臨床電子顕微鏡学会

回	年度	会長	所属(役職:教授)	会期	会場
1	1969	安澄 権八郎	奈良県立医科大学解剖学教室	1969.9.14-15	奈良県立医科大学講堂
2	1970	沢崎 千秋	日本大学医学部産婦人科学教室	1970.9.14-15	国立教育会館
3	1971	松村 忠樹	関西医科大学小児科学教室	1971.8.21-22	大阪厚生年金会館
4	1972	藤田 英輔	山口大学医学部皮膚科学教室	1972.9.9-10	山口県民会館
5	1973	黒住 一昌	群馬大学内分泌研究所形態部	1973.8.29-31	群馬県民会館
6	1974	千田 信行	大阪府立成人病センター	1974.9.12-14	大阪府立青少年会館
7	1975	滝 一郎	九州大学医学部産婦人科学教室	1975.9.19-20	福岡市民会館
8	1976	上田 文男	愛知医科大学整形外科科学教室	1976.9.17-18	名古屋市民会館
9	1977	橋本 正淑	札幌医科大学産婦人科学教室	1977.9.16-17	札幌市医師会館
10	1978	森安 信雄	日本大学医学部脳神経外科学教室	1978.9.8-10	国立教育会館
11	1979	三島 豊	神戸大学医学部皮膚科学教室	1979.9.18-19	神戸文化ホール
12	1980	中村 恒男	滋賀医科大学	1980.8.29-31	大津市民会館
13	1981	谷川 久一	久留米大学医学部第二内科学教室	1981.9.18-19	石橋文化センター
14	1982	坂口 弘	慶應義塾大学医学部病理学教室	1982.9.16-18	日本都市センター
15	1983	市田 文弘	新潟大学医学部第三内科学教室	1983.9.16-18	新潟県民会館
16	1984	樫木 勇	関西医科大学産婦人科学教室	1984.9.20-22	大阪商工会議所
17	1985	渡 仲三	名古屋市立大学医学部第一解剖学教室	1985.9.26-28	名古屋市公会堂
18	1986	吉田 吉信	滋賀医科大学産婦人科学教室	1986.10.25-26	京都府立勤労会館京都商工会議所
19	1987	奥田 稔	日本医科大学耳鼻咽喉科学教室	1987.9.17-19	日本都市センター
20	1988	山元 寅男	九州大学医学部第一解剖学教室	1988.9.1-3	県立福岡勤労青少年文化センター
21	1989	廣畑 和志	神戸大学医学部整形外科科学教室	1989.9.20-22	神戸国際会議場
22	1990	岡田 慶夫	滋賀医科大学	1990.9.19-21	大津プリンスホテル

回	年 度	会 長	所属（役職：教授）	会 期	会 場
23	1991	佐々木 博	富山医科薬科大学	1991.9.12-14	富山県民会館
24	1992	太田 善介	岡山大学医学部第三内科学教室	1992.9.17-19	岡山衛生会館
25	1993	永田 哲士	信州大学医学部第一解剖学教室	1993.9.28-30	松本文化会館
26	1994	緒方 卓郎	高知医科大学第一外科学教室	1994.10.5-7	高知県民文化ホール
27	1995	大澤 源吾	川崎医科大学内科学（腎）	1995.9.28-30	倉敷市芸文館
28	1996	河村 慧四郎	大阪医科大学第三内科学教室	1996.10.17-19	千里ライフサイエンスセンター
29	1997	森 道夫	札幌医科大学第二病理学教室	1997.10.2-3	札幌市教育文化会館
30	1998	中井 康光	昭和大学医学部第一解剖学教室	1998.9.17-19	品川区立総合区民会館
31	1999	中村 三郎	日本大学医学部脳神経外科学教室	1999.11.17-19	日本大学会館 アルカディア市ヶ谷
32	2000	藤本 淳	産業医科大学医学部第二解剖学教室	2000.9.28-30	北九州国際会議場
33	2001	雨宮 次生	長崎大学医学部眼科学教室	2001.9.27-29	長崎ブリックホール
34	2002	工藤 隆一	札幌医科大学医学部産婦人科学教室	2002.9.27-28	かでの2・7
35	2003	畑 俊夫	埼玉医科大学産婦人科学教室	2003.10.29-31	文京シビックホール
36	2004	岡村 均	熊本大学医学部薬学研究部先端生命医療科学部 門成育再建・移植医学講座産科学分野	2004.11.5-6	ニュースカイホテル

日本臨床分子形態学会 歴代会長

（2005年1月1日～学会名称変更）

回	年 度	会 長	所属（役職：教授）	会 期	会 場
37	2005	河本 圭司	関西医科大学脳神経外科	2005.9.30-10.1	大阪国際交流センター
38	2006	石原 得博	山口大学医学部構造制御病態学講座	2006.9.29-30	宇部市文化会館
39	2007	大野 伸一	山梨大学大学院医学工学総合研究部 解剖分子組織学教室	2007.9.28-29	甲府市総合市民会館
40	2008	向坂 彰太郎	福岡大学医学部消化器内科	2008.10.3-4	福岡国際会議場
41	2009	螺良 愛郎	関西医科大学病理学第二講座	2009.9.4-5	神戸国際会議場
42	2010	市田 隆文	順天堂大学医学部附属静岡病院消化器内科	2010.9.24-25	東レ総合研修センター
43	2011	大槻 勝紀	大阪医科大学生命科学講座解剖学教室	2011.9.9-10	大阪医科大学
44	2012	小林 道也	高知大学医学部医療学講座医療管理学分野	2012.9.28-29	高知市文化プラザかるぽーと
45	2013	上野 隆登	朝倉医師会病院	2013.9.13-14	アクロス福岡
46	2014	根本 則道	日本大学医学部病態病理学系病理学分野	2014.10.17-18	TKP市ヶ谷カンファレンスセンター
47	2015	小路 武彦	長崎大学大学院医歯薬学総合研究科医療科学 専攻生命医科学講座組織細胞生物学分野	2015.9.18-19	長崎大学医学部良順会館・ポンベ会館
48	2016	片渕 秀隆	熊本大学大学院生命科学研究部 産科婦人科学分野	2016.9.23-24	くまもと県民交流館パレア
49	2017	千田 隆夫	岐阜大学大学院医学系研究科 病態制御学講座解剖学分野	2017.9.15-16	じゅうろくプラザ
50	2018	中村 正彦	北里大学薬学部臨床薬学研究・教育センター 病態解析学	2018.9.7-8	北里大学大村記念ホール

学会賞受賞者

回	受賞年月日	受賞者名
1	1969/9/15	学 会 賞：谷川 久一（久留米大学 第二内科）、杉原 理一（奈良医大 第二解剖）
2	1970/9/15	学 会 賞：松坂 利彦（大阪成人病センター 眼科）、近藤 慶一（大阪成人病センター 内科）
3~5	1971/8/22	学 会 賞：受賞者なし
6	1974/9/13	学 会 賞：江部 達夫（長岡日赤 内科）、小林 繁（新潟大学 第三解剖）
7	1975/9/20	学 会 賞：古賀 明俊（九州大学 第一外科）
8	1976/9/18	学 会 賞：井村 愼一（金沢大学 整形外科）
9	1977/9/17	学 会 賞：川端 五十鈴（東京大学 耳鼻咽喉科）、河村 慧四郎（大阪医科大学 第三内科）
10	1978/9/9	学 会 賞：江藤 胤尚（九州大学 第二内科）、鈴木 啓之（日本大学 皮膚科）
11	1979/9/9	学 会 賞：渡 仲三（名古屋市立大学 第一解剖）
12	1980/8/30	学 会 賞：松村 豪一（長崎大学 脳神経外科）
13	1981/9/19	学 会 賞：原田 康夫（広島大学 耳鼻咽喉科）
14	1982/9/17	安澄記念賞：谷川 久一（久留米大学 第二内科） 奨 励 賞：畑 俊夫（日本医科大学 産婦人科）
15	1983/9/17	安澄記念賞：黒住 一昌（群馬大学 内分泌研究所）
16	1984/9/21	安澄記念賞：坂口 弘（慶應義塾大学 病理） 奨 励 賞：上村 朝輝（新潟大学 第三内科）、服部 晃（新潟大学 第一内科）
17	1985/9/27	安澄記念賞：三島 豊（神戸大学 皮膚科） 奨 励 賞：大舘 祐治（高知医大 第二病理）
18	1986/10/26	安澄記念賞：橋本 正淑（札幌医科大学 産婦人科）
19	1987/9/18	安澄記念賞：藤田 英輔（島根医科大学 副学長）、市田 文弘（新潟大学 第三内科） 奨 励 賞：松坂 利彦（大阪成人病センター 眼科）
20	1988/9/2	安澄記念賞：滝 一郎（大阪警察病院 院長） 奨 励 賞：堀江 昭夫（産業医科大学 病理）
21	1989/9/21	安澄記念賞：榎木 勇（関西医科大学 産婦人科） 奨 励 賞：夜久 有滋（栃木がんセンター 頭頸科）
22	1990/9/20	安澄記念賞：山元 寅男（九州大学 解剖学）、渡 仲三（名古屋市立大学 第一解剖） 奨 励 賞：高橋 睦夫（山口大学 臨床検査医学講座）
23	1991/9/13	安澄記念賞：奥田 稔（日本医科大学 耳鼻咽喉科）、吉田 吉信（滋賀医科大学 産婦人科） 奨 励 賞：太田 正治（京都府立医科大学 第三内科）、阪上 雅史（大阪大学 耳鼻咽喉科）
24	1992/9/18	安澄記念賞：岡田 慶夫（滋賀医科大学 病院長）、廣畑 和志（神戸大学 名誉教授） 奨 励 賞：白田 信光（信州大学 第一解剖）
25	1993/9/29	安澄記念賞：佐々木 博（富山医科薬科大学 病院長） 奨 励 賞：今山 修平（九州大学 皮膚科）
26	1994/10/6	安澄記念賞：太田 善介（岡山大学 第三内科） 奨 励 賞：横野 博史（岡山大学 第三内科）
27	1995/9/29	安澄記念賞：永田 哲士（信州大学 第一解剖） 奨 励 賞：高原 照美（富山医科薬科大学 第三内科） 英文論文賞：浜崎 勲重（産業医科大学 産婦人科）、細部 雅代（川崎医科大学 内科） 和文論文賞：清水 貴子（浜松医科大学 内科）

回	受賞年月日	受賞者名
28	1996/10/18	安澄記念賞：緒方 卓郎(高知医科大学 外科学) 奨励賞：小澤 一史(京都府立医科大学 解剖) 英文論文賞：竹森 信男(旭川医科大学 内科) 和文論文賞：瀬谷 知子(日本医科大学 病理)
29	1997/10/3	安澄記念賞：大澤 源吾(川崎医科大学 腎臓内科) 奨励賞：向坂 彰太郎(久留米大学 第二内科)、藤村 宜憲(川崎医科大学 地域医療学) 英文論文賞：渡邊 建介(独協医科大学越谷病院 耳鼻咽喉科) 和文論文賞：船津 和夫(東京歯科大学市川総合病院 内科)
30	1998/9/18	安澄記念賞：河村 慧四郎(大阪医科大学 第三内科) 奨励賞：萩原 治夫(群馬大学 第一解剖) 英文論文賞：梅本 匡則(近畿中央病院 耳鼻咽喉科)、西垣 龍太郎(日本医科大学 病理) 和文論文賞：安藤 徹(高知医科大学 外科)
31	1999/11/18	安澄記念賞：森 道夫(札幌医科大学 第二病理)、中井 康光(昭和大学 第一解剖) 奨励賞：片渕 秀隆(熊本大学 産婦人科) 英文論文賞：高橋 稔(群馬大学 第一外科) 和文論文賞：葉山 国千(埼玉医科大学 産婦人科)
32	2000/9/29	安澄記念賞：中村 三郎(日本大学 脳神経外科) 奨励賞：千田 隆夫(藤田保健衛生大学 第一解剖) 英文論文賞：茅嶋 康太郎(産業医科大学 第二解剖) 和文論文賞：石川 吾利美(日本医科大学 第一病理)
33	2001/9/28	安澄記念賞：藤本 淳(産業医科大学 第2解剖) 奨励賞：原田 大(久留米大学 第二内科) 英文論文賞：佐藤 茂(日本医科大学 中央電顕研究施設) 和文論文賞：小黑 辰夫(日本医科大学千葉北総病院 病理)
34	2002/9/27	安澄記念賞：雨宮 次生(長崎大学 眼科学) 奨励賞：青木 大輔(慶應義塾大学 産婦人科) 論文賞：森 浩志(大阪医科大学 病理学)
35	2003/10/30	安澄記念賞：工藤 隆一(札幌医科大学 産婦人科)、野澤 志朗(慶應義塾大学 産婦人科) 論文賞：羅 羽(富山医科薬科大学 皮膚科)
36	2004/11/5	安澄記念賞：畑 俊夫(埼玉医科大学 産婦人科) 奨励賞：小島 隆(札幌医科大学 第二病理) 論文賞：萩 真理子(北里研究所メディカルセンター病院 検査科)、片渕 秀隆(熊本大学 産婦人科)
37	2005/10/1	安澄記念賞：岡村 均(熊本大学医学薬学研究部先端生命医療科学部門成育再建・移植医学講座産科学分野) 奨励賞：藤乗 嗣泰(東京大学 腎臓・内分泌内科) 論文賞：小島 隆(札幌医科大学 第2病理)、渡場 孝弥(国立成育医療センター)
38	2006/9/29	安澄記念賞：河本 圭司(関西医科大学 脳神経外科) 奨励賞：安彦 善裕(北海道医療大学 個体差医療科学センター歯学部 口腔内科学系) 論文賞：永田 貴久(産業医科大学 第1外科)、若松 武志(西埼玉中央病院)
39	2007/9/28	安澄記念賞：石原 得博(山口大学医学部 構造制御病態学講座) 奨励賞：垣内 雅彦(三重大学大学院医学系研究科病態制御医学講座消化器内科学) 横森 弘昭(北里研究所メディカルセンター病院 内科) 論文賞：Yu-Lan JIN(高知大学)、藤村 宜憲(川崎医科大学 内科)

回	受賞年月日	受賞者名
40	2008/10/3	安澄記念賞：円山 英昭(高知大学医学部 分子生体制御学講座病理病態学教室) 大野 伸一(山梨大学大学院医学工学総合研究部医学系学域 解剖分子組織学教室) 奨励賞：森谷 卓也(川崎医科大学 病理学2) 論文賞：甲斐 吉郎(済生会中和病院 内科)、池浦 司(関西医科大学附属枚方病院 消化器肝臓内科)
41	2009/9/5	安澄記念賞：向坂 彰太郎(福岡大学医学部消化器内科) 奨励賞：瀬藤 光利(浜松医科大学 分子解剖学) 論文賞：藤乗 嗣泰(東京大学医学部腎臓 内分泌内科)
42	2010/9/25	安澄記念賞：螺良 愛郎(関西医科大学 病理学第二講座) 奨励賞：永田 浩一(愛知県心身障害者コロニー 発達障害研究所 神経制御学部) 論文賞：光永-中坪 敬子(広島大学大学院理学研究科数理分子生命理学専攻 分子遺伝学研究室) 木村 富紀(立命館大学総合理工学院薬学部薬学科)
43	2011/9/10	安澄記念賞：市田 隆文(順天堂大学医学部附属静岡病院 消化器内科) 奨励賞：内藤 宗和(東京医科大学・人体構造学講座) 松田 康伸(新潟大学医学部保健学科検査技術科学専攻) 論文賞：木下 秘我(神戸大学大学院 肝胆脾外科学)、山本 直樹(藤田保健衛生大学共同利用研究施設)
44	2012/9/28	安澄記念賞：大槻 勝紀(大阪医科大学 生命科学講座解剖学教室) 奨励賞：梶原 健(埼玉医科大学 産科婦人科教室)、黒田 直人(高知赤十字病院 病理診断科部) 論文賞：鈴木 秀典(山口大学大学院医学系研究科 整形外科) 横山 敦司(藤田保健衛生大学 内分泌代謝内科)
45	2013/9/14	安澄記念賞：小林 道也(高知大学医学部医療学講座医療管理学分野) 奨励賞：鶴田 大輔(大阪市立大学大学院 皮膚病態学) 論文賞：草場 岳(順天堂大学 腎臓内科学講座)
46	2014/10/18	安澄記念賞：上野 隆登(朝倉医師会病院) 奨励賞：寺田 信生(信州大学大学院医学研究科保健学専攻医療生命学分野) 論文賞：市野瀬 志津子(東京医科歯科大学 医歯学研究支援センター)
47	2015/9/19	安澄記念賞：根本 則道(日本大学医学部総合医学研究所) 論文賞：井口 博善(北里研究所メディカルセンター)
48	2016/9/24	安澄記念賞：小路 武彦(長崎大学大学院医歯薬学総合研究科医療科学専攻 生命医科学講座 組織細胞生物学分野) 論文賞：大城 久(横浜市立大学 病態病理学)
49	2017/9/16	安澄記念賞：片瀝 秀隆(熊本大学大学院生命科学研究部 産科婦人科学分野) 奨励賞：山本 直樹(藤田保健衛生大学 共同利用研究施設 分子生物学) 論文賞：Truc Quynh Thai(山梨大学 解剖学講座分子組織学)
50	2018/9/8	安澄記念賞：千田 隆夫(岐阜大学大学院医学系研究科病態制御学講座解剖学分野) 奨励賞：覚道 奈津子(関西医科大学 形成外科学講座) 論文賞：竹山 康章(福岡大学医学部 消化器内科)

安澄記念賞：学会の進歩発展に寄与した者に安澄記念賞を贈呈する。

奨励賞：学術奨励のために優秀な成績を収めた者に奨励賞を贈呈する。

論文賞：学会機関誌 Medical Molecular Morphology に掲載された前年度論文の中から、学術上または技術上特に優秀な論文夫々の著者全員に対し毎年1回授与する。

演題賞受賞者

第47回(受賞年月日: 2015/9/19)

	受賞者	所属
最優秀演題賞	宮川 恒一郎	産業医科大学第3内科学
優秀演題賞	高原 照美	富山大学医学部第三内科
準優秀演題賞	阿部 伸一	長崎大学病院 腎臓内科
	桑原 義和	東北大学加齢医学研究所病態臓器構築研究分野
	田中 義久	大阪医科大学大学院医学研究科

第48回(受賞年月日: 2016/9/24)

	受賞者	所属
最優秀演題賞	中村 徹	久留米大学医学部内科学講座消化器内科部門
優秀演題賞	Shaowei Li	国立成育医療研究センター 移植免疫学
	嶋田 浩志	北海道社会事業協会帯広病院 産婦人科

第49回(受賞年月日: 2017/9/16)

	受賞者	所属
最優秀演題賞	尾之内 高慶	藤田保健衛生大学医学部 病理学第一講座
優秀演題賞	大内 啓史	金沢大学医薬保健研究域医学系人体病理学
	小池 太郎	関西医科大学 解剖学第一講座
	斉藤 良平	埼玉医科大学 産科婦人科
	谷川 雅彦	久留米大学医学部 病理学講座

High Citation Award

2018年度 ○前田 哲代(日本大学外科学講座 乳腺内分泌外科)

論文題名: Immunohistochemical co-expression status of cytokeratin 5/6, androgen receptor, and p53 as prognostic factors of adjuvant chemotherapy for triple negative breast cancer
MMM49(1): 11-21

演題賞: 奨学ならびに若手研究者育成のため、一般演題から最優秀演題賞1名ならびに優秀演題賞2名以内を設け、学術集会期間中に会長が授与する。

High Citation Award: 直前の2年間の機関誌 Medical Molecular Morphology (MMM) 掲載論文の中でもっとも引用数の多い(High Citation)論文の筆頭著者に、毎年1回授与する。

Handwriting practice lines consisting of 24 horizontal dashed lines.

プログラム

プログラム

9月7日(金)

第2会場(プラチナタワー 3F 3301教室)

開会の辞 8:55～

一般演題1 9:00～9:40

[腎臓]

座長：菱川 善隆(宮崎大学医学部 解剖学講座組織細胞化学分野)

藤乗 嗣泰(東京大学医学部 腎臓・内分泌内科)

コメンテーター：藤田 守(久留米大学解剖学)

01-1 電顕所見からみた V-ATPase 阻害薬による2型糖尿病ラットの血糖降下作用

○藤乗 嗣泰(とうじょう あきひろ)¹⁾、阿部 誠¹⁾、石光 晃¹⁾、海賀 安希子¹⁾、内田 麻友¹⁾、平尾 潤¹⁾、古市 将人¹⁾、永瀬 秋彦¹⁾、小野田 翔¹⁾、大平 健弘¹⁾、村山 慶樹¹⁾、里中 弘志¹⁾、松山 欽一²⁾、今井 康雄²⁾、石光 俊彦¹⁾

1) 獨協医科大学 循環器・腎臓内科、2) 獨協医科大学 病理部

01-2 低真空 SEM による糸球体 podocyte 観察に適した組織染色

○古市 将人(ふるいち まさひと)¹⁾、藤乗 嗣泰¹⁾、阿部 誠¹⁾、石光 晃¹⁾、海賀 安希子¹⁾、内田 麻友¹⁾、平尾 潤¹⁾、永瀬 秋彦¹⁾、小野田 翔¹⁾、大平 健弘¹⁾、村山 慶樹¹⁾、里中 弘志¹⁾、石川 美保子²⁾、松山 欽一²⁾、今井 康雄²⁾、石光 俊彦¹⁾

1) 獨協医科大学 医学部 循環器・腎臓内科、2) 獨協医科大学 医学部 病理部

01-3 Sulfite oxidase (SUOX) は前立腺癌において術後生化学的再発の予測 biomarker として有用である

○黒瀬 浩文(くろせ ひろふみ)¹⁾²⁾、内藤 嘉紀¹⁾³⁾、近藤 礼一郎¹⁾、植田 浩介²⁾、草野 弘宣¹⁾、眞田 咲子¹⁾、小笠原 幸子¹⁾、秋葉 純¹⁾³⁾、井川 掌²⁾、矢野 博久¹⁾

1) 久留米大学 医学部 病理学講座、2) 久留米大学 医学部 泌尿器科学講座、
3) 久留米大学病院 病理診断科・病理部

01-4 好酸球性多発血管炎性肉芽腫症に伴った膜性腎症様の電顕所見

○石光 晃(いしみつ あきら)、平尾 潤、藤乗 嗣泰、阿部 誠、海賀 安希子、内田 麻友、古市 将人、永瀬 秋彦、小野田 翔、大平 健弘、村山 慶樹、里中 弘志、松山 欽一、富田 茂樹、今井 康雄、石光 俊彦

獨協医科大学 循環器・腎臓内科、病理部

〔 女性生殖器細胞の形態と機能 〕

W2-1 平滑筋肉腫の FFPE 組織標本を用いた新規バイオマーカー探索の試み

○秋元 太志（あきもと たいし）¹⁾、高澤 啓²⁾、斎藤 豪¹⁾

1) 札幌医科大学 医学部 産婦人科学講座、2) 札幌医科大学 医学部 病理学第二講座

W2-2 LSR- リガンド angubindin-1 による子宮内膜癌細胞の劇的な運動能変化

○幸野 貴之（こうの たかゆき）¹⁾、金野 匠¹⁾、菊池 真²⁾、郷久 晴朗³⁾、斎藤 豪³⁾、
近藤 昌夫⁴⁾、小島 隆¹⁾

1) 札幌医科大学 医学部附属 フロンティア医学研究所 細胞科学部門、
2) 札幌医科大学 医学部 解剖学第一講座、3) 札幌医科大学 医学部 産婦人科学講座、
4) 大阪大学大学院 薬学研究科 附属創薬センター

W2-3 子宮内膜細胞の脱落膜化と胚の着床における中鎖脂肪酸の役割

○水野 由美（みずの ゆみ）¹⁾、梶原 健¹⁾、岸 美裕子²⁾、田丸 俊輔¹⁾、佐藤 智美¹⁾、
小黑 辰夫¹⁾³⁾、石原 理¹⁾

1) 埼玉医科大学 産科・婦人科、2) 埼玉医科大学 医学部、
3) 日本医科大学大学院 共同研究施設 形態解析研究室

**W2-4 プロラクチンによる子宮内膜の形態と機能の変化：
子宮内膜癌の発癌・増殖機構の観点から**

○山口 宗影（やまぐち むねかげ）¹⁾、斎藤 文誉¹⁾、坂口 勲¹⁾、田代 浩徳²⁾、片渕 秀隆¹⁾

1) 熊本大学大学院 生命科学研究部 産科婦人科学、2) 熊本大学大学院 生命科学研究部 母子看護学

W2-5 子宮内膜症線維化治療薬としての CBP/ β -catenin 阻害剤の可能性

○平川 東望子（ひらかわ ともこ）¹⁾、奈須 家栄¹⁾²⁾、小路 弘行³⁾、上村 尚人⁴⁾、
檜原 久司¹⁾

1) 大分大学 医学部附属病院 産婦人科、2) 大分大学医学部地域医療支援システム・産婦人科分野、
3) 大分大学 全学研究推進機構、4) 大分大学 医学部 臨床薬理学

ランチョンセミナー1 11:30～12:20

司会：横森 弘昭（北里大学メディカルセンター 総合内科）

LS-1 原発性硬化性胆管炎の病態に迫る

金井 隆典（かない たかのり） 慶應義塾大学 医学部 消化器内科

共催：アッヴィ合同会社

一般演題2 9:00~10:00

[神 経]

座長：伊東 秀記(愛知県心身障害者コロニー発達障害研究所 神経制御学部)

北岡 隆(長崎大学 大学院医歯薬学総合研究科 眼科・視覚科学)

コメンテーター：永田 浩一(愛知県心身障害者コロニー発達障害研究所 神経制御学部)

02-1 脳神経組織における MacroD2 の性状解析

○伊東 秀記(いとう ひでのり)、森下 理香、水野 誠、河村 則子、田畑 秀典、永田 浩一
愛知県心身障害者コロニー 発達障害研究所 神経制御学部

02-2 脳発達段階における G 蛋白質活性化因子 ARHGEF9 の発現解析

○永田 浩一(ながた こういち)¹⁾、茨木 京子¹⁾、水野 誠¹⁾、伊東 秀記¹⁾、青木 仁美²⁾、
丹羽 亜弓³⁾、岩本 郁子¹⁾、原 明³⁾、田畑 秀典¹⁾
1) 愛知県心身障害者コロニー発達障害研究所 神経制御学部、2) 岐阜大学 医学部 再生医科学、
3) 岐阜大学 医学部 腫瘍病理学

**02-3 血中 A β 除去による Alzheimer 病治療をめざして；
血液透析患者の老人斑の種類と局在**

○酒井 一由(さかい かずよし)¹⁾、作佐部 太也¹⁾、安倍 雅人²⁾、千田 隆夫³⁾⁴⁾、秦 龍二⁵⁾、
吉田 真理⁵⁾、村山 繁雄⁶⁾、北口 暢哉¹⁾
1) 藤田保健衛生大学 医療科学部 臨床工学科、2) 藤田保健衛生大学 医療科学部 臨床検査学科、
3) 岐阜大学大学院 解剖学、4) 藤田保健衛生大学 医学部、5) 愛知医科大学 加齢医科学研究所、
6) 東京都健康長寿医療センター 神経内科・バイオリソースセンター・ブレインバンク

02-4 虹彩由来 iPS 細胞を用いた水晶体上皮細胞への分化誘導

○山本 直樹(やまもと なおき)¹⁾、平松 範子¹⁾²⁾、大熊 真人³⁾、磯谷 澄都²⁾、谷川 篤宏⁴⁾、
今泉 和良²⁾、宮地 栄一³⁾、堀口 正之⁴⁾
1) 藤田保健衛生大学 研究支援推進センター 再生医療支援推進施設、
2) 藤田保健衛生大学 医学部 呼吸器内科学、3) 藤田保健衛生大学 医学部 生理学2、
4) 藤田保健衛生大学 医学部 眼科学

02-5 防腐剤フリーのラタノプロスト点眼液の角膜上皮障害性の検討

○井上 大輔(いのうえ だいすけ)、ヤッセル・ヘルミー・モハメド、上松 聖典、
植木 亮太郎、今村 直樹、北岡 隆
長崎大学大学院 医歯薬学研究科 眼科・視覚科学教室

02-6 CLEM-Array tomography を用いた後根神経節内グリア細胞の観察

○小池 太郎(こいけ たろう)、山田 久夫
関西医科大学 解剖学第一講座

03-1 Wnt3a と Fgf8 刺激によるマウス iPS 細胞から象牙芽細胞への分化・誘導の検討

○高田 佳奈¹⁾、小野寺 晶子²⁾、齋藤 暁子²⁾、中村 貴²⁾、小田嶋 彩乃³⁾、木村 基善⁴⁾、森田 奈那⁵⁾、間 奈津子¹⁾、古澤 成博¹⁾、東 俊文²⁾

1) 東京歯科大学 歯内療法学講座、2) 東京歯科大学 生化学講座、
3) 東京歯科大学 口腔科学研究センター、4) 東京歯科大学 小児歯科学講座、
5) 東京歯科大学 オーラルメディシン・口外

03-2 舌扁平上皮癌の腫瘍浸潤部における RGS5 の発現について

○安倍 由思¹⁾²⁾、小笠原 幸子¹⁾、秋葉 純¹⁾、内藤 嘉紀¹⁾、近藤 礼一郎¹⁾、中村 謙²⁾、楠川 仁悟²⁾、矢野 博久¹⁾

1) 久留米大学 医学部 病理学講座、2) 久留米大学 医学部 歯科口腔医療センター

03-3 A study on efficient induction of odontoblasts differentiation

○星野 立樹¹⁾、中村 貴²⁾、小野寺 晶子²⁾、齋藤 暁子²⁾、木村 基善³⁾、小田嶋 彩乃⁴⁾、一戸 達也¹⁾、東 俊文²⁾

1) 東京歯科大学 水道橋病院 歯科麻酔学講座、2) 東京歯科大学 生化学講座、
3) 東京歯科大学 小児歯科学講座、4) 東京歯科大学 口腔科学研究センター

04-1 Gorlin 症候群患者由来 iPS 細胞の皮膚上皮細胞分化とその紫外線反応性

○森田 奈那¹⁾、小野寺 晶子²⁾、渡邊 豪士³⁾、小倉 弘之⁴⁾、高田 佳奈⁵⁾、奥平 貴人³⁾、平田 吉敬²⁾、長谷川 大悟⁶⁾、浮地 賢一郎¹⁾、齋藤 暁子²⁾、中村 貴²⁾、高橋 慎一⁷⁾、野村 武史¹⁾、東 俊文²⁾

1) 東京歯科大学 オーラルメディシン・口腔外科学講座、2) 東京歯科大学 生化学講座、
3) 東京歯科大学 口腔顎顔面外科学講座、4) 東京歯科大学 歯科矯正学講座、
5) 東京歯科大学 歯内療法学講座、6) 東海大学 医学部付属病院 歯科口腔外科、
7) 東京歯科大学 市川総合病院 皮膚科

04-2 基底細胞母斑症候群患者の角化嚢胞性歯原性腫瘍に関する臨床的検討

○星野 照秀¹⁾、森田 奈那²⁾、高橋 理顕¹⁾、高野 正行³⁾、柴原 孝彦³⁾、片倉 朗¹⁾

1) 東京歯科大学 口腔病態外科学講座、2) 東京歯科大学 オーラルメディシン・口腔外科学講座、
3) 東京歯科大学 口腔顎顔面外科学講座

O4-3 Gorlin 症候群患者由来 iPS 細胞の骨芽細胞分化能の異常

○小野寺 晶子(おのでら しょうこ)¹⁾²⁾、齋藤 暁子¹⁾、片倉 朗⁴⁾、野村 武史⁵⁾、鄭 雄一²⁾、
紫原 孝彦³⁾、大庭 伸介²⁾、東 俊文¹⁾

1) 東京歯科大学 生化学講座、2) 東京大学大学院医学系研究科附属疾患生命工学センター、

3) 東京歯科大学 口腔顔面外科学講座、4) 東京歯科大学 口腔病態外科学講座、

5) 東京歯科大学 オーラルメディシン・口腔外科学講座

O4-4 Gorlin 症候群に付随する顎骨嚢胞の治療および PTCH1 遺伝子診断ストラテジー

○森田 圭一(もりた けいいち)¹⁾、原田 浩之²⁾、依田 哲也¹⁾

1) 東京医科歯科大学大学院 医歯学総合研究科 顎顔面外科学分野、

2) 東京医科歯科大学大学院 医歯学総合研究科 顎口腔外科学分野

ランチョンセミナー2 11:30～12:20

司会：寺田 総一郎(江戸川病院 健診センター・内視鏡センター)

LS-2 今知っておきたい Silent GI Bleeding と GERD

鈴木 剛(すずき つよし) 東都医療大学 管理栄養学部・研究センター

共催：アストラゼネカ株式会社、第一三共株式会社

Help me corner 1 12:30～13:00

第4会場(2号館 3F 2302室にて)

司会：原田 大(産業医科大学 第3内科学)

会長講演 13:00～13:30

司会：向坂 彰太郎(理事長、福岡大学医学部 消化器内科学)

PL 動物のヘリコバクター friend or foe

中村 正彦(なかむら まさひこ) 北里大学 薬学部 臨床薬学研究・教育センター 病態解析学

50周年特別企画 13:30～14:30

司会：中村 正彦(北里大学薬学部 臨床薬学研究・教育センター 病態解析学)

特別発言：向坂 彰太郎(理事長)

演者：谷川 久一 久留米大学 名誉教授、第13回日本臨床電子顕微鏡学会 会長

畑 俊夫 埼玉医科大学 名誉教授、第35回日本臨床電子顕微鏡学会 会長

円山 英昭 社会医療法人近森会地域医療支援病院 近森病院 病理診断部 部長

シンポジウム1 14:30～16:30

司会：東 俊文(東京歯科大学 歯学部生化学講座/口腔科学研究センター)

石川 俊平(東京医科歯科大学 難治研ゲノム病理学)

[ゲノムで見える病態]

S1-1 がんゲノム病理学情報の蓄積と学習

○石川 俊平(いしかわ しゅんぺい)¹⁾²⁾

1) 東京医科歯科大学 難治疾患研究所 ゲノム病理学分野、

2) 東京大学 大学院医学系研究科 分子予防医学分野

S1-2 ミトコンドリアダイナミクスの制御機構と破綻による老化関連疾患

○柳 茂(やなぎ しげる)

東京薬科大学 生命科学部 分子生化学研究室

S1-3 遺伝性消化管腫瘍のゲノム解析と臨床的意義

○田村 和朗(たむら かずお)

近畿大学 大学院 総合理工学研究科 理学専攻 遺伝医学

S1-4 ゲノムからみたアレルギー疾患

○玉利 真由美(たまり まゆみ)、廣田 朝光

東京慈恵会医科大学 総合医科学研究センター 基盤研究施設(分子遺伝学)

S1-5 難培養性ヘリコバクター・ハイルマニイのゲノム解析を基盤とした迅速診断法と新規抗菌剤の開発

○松井 英則(まつい ひでのり)¹⁾、寺田 総一郎²⁾、中村 正彦³⁾

1) 北里大学・北里生命科学研究所／感染症学研究室、2) 江戸川病院 健診センター・内視鏡センター、
3) 北里大学 薬学部 臨床薬学研究・教育センター 病態解析学

S1-6 Duodenal SCFA sensing

○秋葉 保忠(あきは やすただ)

UCLA, West LA VAMC

S1-7 AAV ベクターを用いた遺伝子治療とゲノム医療

○岡田 尚巳(おかだ たかし)

1) 日本医科大学 生化学・分子生物学(分子遺伝学) 大学院教授

S1-8 母斑基底細胞がん症候群(NBCCS)の責任遺伝子に見られる遺伝子変異解析

○高山 吉永(たかやま よしなが)¹⁾、初瀬 洋美¹⁾、長尾 和右¹⁾、亀山 孝三¹⁾、藤井 克則²⁾、
宮下 俊之¹⁾

1) 北里大学 医学部 分子遺伝学、2) 千葉大学 医学部 小児科学

S1-9 Gorlin 症候群ゲノム解析と疾患 iPS 細胞による病態解析への応用

○東 俊文(あすま としふみ)¹⁾、小野寺 晶子¹⁾、中村 正彦²⁾、寺田 総一郎³⁾

1) 東京歯科大学 生化学講座、2) 北里大学 薬学部 臨床薬学研究・教育センター 病態解析学、
3) 江戸川病院 健診センター・内視鏡センター

特別講演 1 16:30～17:20

司会：織田 正也(国際医療福祉大学 山王メディカルセンター)

SL-1 平成年間の医療記事の移り変わり

館林 牧子(たてばやし まきこ) 読売新聞 医療部

特別講演 2 17:20～18:00

司会：片渕 秀隆(熊本大学)

SL-2 「肥後国阿蘇郡小国郷北ノ里」と北里柴三郎

檀原 宏文(だんばら ひろふみ) 北里大学 名誉教授

一般演題5 15:30～16:40

[肝臓]

座長：寺田 総一郎(江戸川病院 健診センター・内視鏡センター)

釈迦堂 敏(福岡大学医学部 消化器内科)

コメンテーター：高原 照美(富山大学医学部 第3内科)

05-1 INSM1染色が診断に有効であった胆嚢原発神経内分泌癌の一例

○谷川 雅彦(たにかわ まさひこ)¹⁾、内藤 嘉紀¹⁾²⁾、中山 正道¹⁾、三原 勇太郎¹⁾、
近藤 礼一郎¹⁾、水落 伸治¹⁾、塩賀 太郎¹⁾、秋葉 純¹⁾²⁾、赤木 由人³⁾、
矢野 博久¹⁾

1)久留米大学医学部 病理学講座、2)久留米大学大学病院 病理診断科、

3)久留米大学医学部 外科学講座

05-2 核グレードによる形態診断の肝細胞癌における臨床的意義

○水落 伸治(みずおち しんじ)¹⁾、近藤 礼一郎¹⁾、小笠原 幸子¹⁾、秋葉 純²⁾、塩賀 太郎¹⁾、
草野 弘宣¹⁾、三原 勇太郎¹⁾、内藤 嘉紀²⁾、谷川 雅彦¹⁾、矢野 博久¹⁾

1)久留米大学 医学部 病理学講座、2)久留米大学病院 病理診断科・病理部

05-3 肝細胞癌生検標本での免疫組織化学による PIVKA の定性判定は、
血中 PIVKA 値と関連する○塩賀 太郎(しおが たろう)¹⁾、近藤 礼一郎¹⁾、小笠原 幸子¹⁾、秋葉 純²⁾、水落 伸治¹⁾、
草野 弘宣¹⁾、三原 勇太郎¹⁾、内藤 嘉紀²⁾、谷川 雅彦¹⁾、矢野 博久¹⁾

1)久留米大学 医学部 病理学講座、2)久留米大学病院 病理診断科・病理部

05-4 偶発的に発見された胆嚢原発混合型腺神経内分泌癌の1例

○中山 正道(なかやま まさみち)¹⁾²⁾、内藤 嘉紀²⁾³⁾、谷川 雅彦²⁾、草野 弘宣²⁾、
矢野 博久²⁾

1)独立行政法人国立病院機構 小倉医療センター 病理診断科、2)久留米大学 医学部 病理学講座、

3)久留米大学病院 病理部

05-5 ラット横中隔間充織のネスチン陽性細胞に由来する肝星細胞群が存在する

○林 芳弘(はやし よしひろ)¹⁾、戸井 慎²⁾、村上 一郎²⁾³⁾

1)高知大学 設備サポート戦略室、2)高知大学 医学部 病理診断部、3)高知大学 医学部 病理学講座

05-6 79歳、男性の単発性肝腫瘍

画像診断および肝腫瘍生検組織、切除肝組織による鑑別診断

○円山 英昭(えんざん ひであき)¹⁾、今本 隼香²⁾、橘 知佐²⁾、佐竹 朋美³⁾、青野 礼³⁾、
塚田 暁⁴⁾、八木 健⁴⁾、宮崎 延裕⁵⁾、中山 宏文⁶⁾

1)社会医療法人近森会 近森病院 病理診断科、

2)社会医療法人近森会 近森病院 臨床検査部 病理検査室、

3)社会医療法人近森会 近森病院 消化器内科、4)社会医療法人近森会 近森病院 消化器外科、

5)社会医療法人近森会 近森病院 放射線科、6)医療法人 JR 広島病院 診療部臨床検査科

05-7 非アルコール性脂肪性肝炎（NASH）を基礎病変とした肝腫瘤組織診断の方向性

○黒田 陽子(くろだ ようこ)¹⁾、遠藤 晴久²⁾、高橋 定雄²⁾、遠藤 久子¹⁾、寺田 総一郎³⁾、
福里 利夫⁴⁾

1) 江戸川病院 病理検査科、2) 江戸川病院 外科、3) 江戸川病院 健診センター・内視鏡センター、
4) 帝京大学 医療共通教育研究センター

一般演題6 16:40～17:40

[技法、その他]

座長：中西 陽子(日本大学医学部 病態病理学系腫瘍病理学分野)

福田 覚(東京大学附属病院 病理部)

コメンテーター：高木 孝士(昭和大学医学部 顕微解剖学講座)

06-1 特異性と汎用性の高い新規 APC 抗体の作製

○千田 隆夫(せんた たかお)、オントルマ、松田 修二、山田 名美

岐阜大学大学院医学系研究科解剖学分野

06-2 低真空走査電子顕微鏡によるホルマリン固定パラフィン包埋切片の3次元観察

○向井 俊平(むかい しゅんぺい)¹⁾、高木 孝士²⁾、南雲 佑¹⁾、佐野 真理子³⁾、永井 智子¹⁾、
本田 一穂³⁾、瀧本 雅文¹⁾²⁾

1) 昭和大学 医学部 臨床病理診断学講座、2) 昭和大学 電子顕微鏡室、
3) 昭和大学 医学部 顕微解剖学講座

06-3 CLEM 法を用いた腎血管 Glycocalyx 検出の試み

○向井 俊平(むかい しゅんぺい)¹⁾、本田 一穂²⁾、高木 孝士³⁾、南雲 裕¹⁾、佐野 真理子²⁾、
瀧本 雅文¹⁾

1) 昭和大学 医学部 臨床病理診断学講座、2) 昭和大学 医学部 顕微解剖学講座、
3) 昭和大学 電子顕微鏡室

06-4 骨肉腫のインスリンシグナルによる形態変化と治療抵抗性獲得

○清水 孝恒(しみず たかつね)¹⁾²⁾、武藤 章弘¹⁾、佐谷 秀行²⁾

1) 星薬科大学 薬学部 病態生理学研究室、
2) 慶應義塾大学 医学部 先端医科学研究所 遺伝子制御研究部門

06-5 大腸 traditional serrated adenoma の腺管周囲間質の構造

○中山 宏文(なかやま ひろふみ)¹⁾、円山 英昭²⁾、三重野 寛³⁾、峠 誠司³⁾、吉田 成人³⁾、
安井 弥⁴⁾

1) JR 広島病院 教育研修部 / 診療部臨床検査科(病理診断科)、2) 近森病院 病理診断科、
3) JR 広島病院 診療部消化器内科、4) 広島大学 大学院医歯薬保健学研究科 分子病理学

06-6 ケロイド組織内血管の電子顕微鏡による解析

○市野瀬 志津子(いちのせ しづこ)、加来 智恵美、小川 令

日本医科大学 形成外科学教室

Help me corner 2 18:00～18:30

第4会場(2号館 3F 2302室にて)

司会：小路 武彦(長崎大学大学院医 歯薬学総合研究科 組織細胞生物学分野)

会員懇親会 18:30～20:30

(学生食堂)

司会：東 俊文(東京歯科大学 生化学講座)

9月8日^土

第1会場(大村記念ホール)

シンポジウム2 9:00～11:00

司会：横森 弘昭(北里大学メディカルセンター 総合内科)

鳥村 拓司(久留米大学 医学部内科学講座消化器内科部門)

特別発言：渡辺 勲史(東海大学医学部八王子病院)

[形態学を基盤にした肝疾患研究の進歩と臨床応用]

S2-1 末梢血 CD34⁺ 細胞を用いた肝硬変に対する臨床応用と新たな治療法の開発

○中村 徹(なかむら とおる)、古賀 浩徳、増田 篤高、岩本 英希、安倍 満彦、阪上 尊彦、
田中 俊光、鳥村 拓司
久留米大学 医学部 内科学講座 消化器内科部門

S2-2 C型肝炎ウイルス感染によるオートファジーの抑制と細胞ストレス

○本間 雄一(ほんま ゆういち)、林 倫留、草永 真志、荻野 学芳、南 創太、宮川 恒一郎、
大江 晋司、原田 大
産業医科大学 第3内科学

S2-3 エクソソーム内包タンパク質 Opioid growth factor receptor-like 1 を介した
傷害肝再生機構の解明

○柳川 享世(やながわ たかよ)¹⁾、住吉 秀明¹⁾、中尾 祥絵¹⁾、笠原 大瑚¹⁾、近田 裕美¹⁾、
紙谷 聡英¹⁾、横森 弘昭²⁾、稲垣 豊¹⁾
1) 東海大学大学院 医学研究科 マトリックス医学生物学センター、
2) 北里大学メディカルセンター 総合内科

S2-4 慢性 C 型肝炎進行過程における Autotaxin の発現

○安藤 航(あんどう わたる)¹⁾、尾鳥 勝也¹⁾、横森 弘昭²⁾
1) 北里大学 薬学部 薬物治療学 IV、2) 北里大学メディカルセンター 総合内科

S2-5 Fascin-1 の機能解析と肝癌予後バイオマーカーとしての有用性

○林 芳弘(はやし よしひろ)¹⁾、藤原 典²⁾、村上 一郎²⁾³⁾
1) 高知大学 設備サポート戦略室、2) 高知大学 医学部 病理学講座、3) 高知大学 医学部 病理診断部

S2-6 ミャンマー国の肝細胞がん症例における Bcl9 の発現

○柴田 恭明(しばた やすあき)、Myat Thu Soe、Myo Win Thun、小路 武彦
長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 組織細胞生物学分野

S2-7 肝腫瘍生検による肝細胞癌の形態診断は、肝細胞癌の悪性度評価に有用か

○近藤 礼一郎(こんどう れいいちろう)¹⁾、小笠原 幸子¹⁾、秋葉 純²⁾、水落 伸治¹⁾、
塩賀 太郎¹⁾、草野 弘宣¹⁾、三原 勇太郎¹⁾、内藤 嘉紀²⁾、谷川 雅彦¹⁾、
矢野 博久¹⁾
1) 久留米大学 医学部 病理学講座、2) 久留米大学病院 病理診断科・病理部

特別講演3 11:00～12:00

司会：小路 武彦（長崎大学大学院 医歯薬学総合研究科 組織細胞生物学分野）

SL-3 動物細胞内中性脂質蓄積を指標とした新規創薬素材の探索

供田 洋（ともだ ひろし） 北里大学 薬学部 微生物薬品製造学研究室

総会、評議員会 13:00～13:30

奨励賞受賞講演 13:30～14:00

司会：斎藤 豪（札幌医科大学 産婦人科学講座）

IA ヒト脂肪幹細胞と多血小板血漿・増殖因子を用いた再生医療研究

覚道 奈津子（かくどう なつこ） 関西医科大学 形成外科学講座

特別講演4 14:00～15:00

司会：中村 正彦（北里大学薬学部 臨床薬学研究・教育センター 病態解析学）

SL-4 病理組織検体のオミックス解析に見るがんの多様性

金井 弥栄（かない やえ） 慶應義塾大学 医学部 病理学教室

ワークショップ1 15:00～17:00

司会：原田 憲一（金沢大学 医薬保健研究域医学系 人体病理学）

佐藤 康晴（岡山大学 医学部保健学科 病態検査学講座）

〔遺伝子と形態学との関連：遺伝子変異に基づく病理診断学〕

W1-1 リンパ腫におけるゲノム異常と形態像の関連

○百瀬 修二（ももせ しゅうじ）

埼玉医科大学 総合医療センター 病理部

W1-2 新 WHO 分類における急性骨髄性白血病の病型と細胞形態について

○田中 由美子（たなか ゆみこ）¹⁾、宮地 勇人²⁾、中村 直哉³⁾

1) 東海大学 医学部附属病院 臨床検査技術科、2) 東海大学 医学部基盤診療学系 臨床検査学、

3) 東海大学 医学部基盤診療学系 病理診断学

W1-3 骨腫瘍の遺伝子異常と形態：骨巨細胞腫の Histone H3.3 変異を中心に

○山元 英崇(やまもと ひでたか)¹⁾²⁾、小田 義直¹⁾²⁾

1)九州大学病院 病理診断科、2)九州大学 医学研究院 形態機能病理

W1-4 限局性結節性過形成・肝細胞腺腫における形態診断学と遺伝子診断

○斉藤 光次(さいとう こうじ)¹⁾、近藤 福雄¹⁾²⁾、福里 利夫²⁾、佐野 圭二³⁾、近藤 浩史⁴⁾、
副島 友莉恵⁵⁾

1)帝京大学医学部附属病院 病理診断科、2)帝京大学医学部附属病院 病理診断科、

3)帝京大学医学部附属病院 外科、4)帝京大学医学部附属病院 放射線科、

5)東京医科歯科大学 分子病態検査学分野

演題賞表彰式、閉会の辞 17:00～17:20

一般演題7 8:50～9:30

[生殖器、乳腺]

座長：梶原 健(埼玉医科大学 産科婦人科学教室)

田代 浩徳(熊本大学医学部保健学科 母子看護学分野)

コメンテーター：坂口 勲(熊本大学大学院生命科学研究部 産科婦人科学分野)

07-1 卵巣子宮内膜症性嚢胞の形態構築とマクロファージの分布についての組織学的検討

○楠木 槇(くすのき まき)¹⁾、坂本 暉¹⁾、鶴 拓人¹⁾、藤原 章雄²⁾、今村 裕子¹⁾、
本田 律生¹⁾、菰原 義弘²⁾、片渕 秀隆¹⁾

1) 熊本大学大学院生命科学研究部 産科婦人科学、2) 熊本大学大学院生命科学研究部 細胞病理学

07-2 Trachelotomy 下子宮頸部生検術により診断しえた分葉状頸管腺過形成に連続する子宮頸部胃型粘液性癌の一例

○相良 昭仁(さから あきひと)¹⁾、齊藤 文誉¹⁾、山口 宗影¹⁾、坂口 勲¹⁾、本田 律生¹⁾、
田代 浩徳²⁾、片渕 秀隆¹⁾

1) 熊本大学大学院生命科学研究部 産科婦人科学、2) 熊本大学大学院生命科学研究部 母子看護学

07-3 乳腺 Lipid rich carcinoma の一切除例

○渡辺 次郎(わたなべ じろう)¹⁾³⁾、高橋 寛敏²⁾、中山 敏幸³⁾

1) 国立病院機構 福山医療センター 病理、2) 国立病院機構 福山医療センター 外科、
3) 産業医科大学 第二病理

一般演題8 9:30～10:30

[腫 瘍]

座長：森谷 卓也(川崎医科大学 病理学)

並川 努(高知大学 外科学講座外科 I)

コメンテーター：矢野 博久(久留米大学医学部 病理学講座)

08-1 筋上皮系マーカーとしての WT1 蛋白および DOG-1 導入の試み：初動段階での知見について

○原田 博史(はらだ ひろし)¹⁾、河原 明彦²⁾、中塚 伸一³⁾、黒瀬 顕⁴⁾

1) 生長会府中病院 病理診断科、2) 久留米大学病院 病理部、
3) 大阪国際がんセンター 細胞・病理診断科、4) 弘前大学大学院医学研究科 病理診断学講座

08-2 3細胞間タイト結合分子 Angulin-1/LSR リガンド Angubindin-1 によるアクチン骨格を介した上皮バリア調節機構

○金野 匠(こんの たくみ)¹⁾、幸野 貴之¹⁾、菊池 真³⁾、嶋田 浩志²⁾、郷久 晴朗²⁾、
齋藤 豪²⁾、近藤 昌夫⁴⁾、小島 隆¹⁾

1) 札幌医科大学 医学部附属フロンティア医学研究所 細胞科学部門、
2) 札幌医科大学 医学部 産婦人科学講座、3) 札幌医科大学 医学部 解剖学第一講座、
4) 大阪大学大学院 薬学研究科 附属創薬センター

08-3 癌 / 精巢抗原 KK-LC-1 の特性 — 担癌胃における発現 —

○福山 隆(ふくやま たかし)¹⁾、山村 瑠衣¹⁾、山崎 大賀¹⁾、中馬 基博²⁾、萩 真里子³⁾、
山崎 等³⁾、近藤 康史²⁾、内藤 正規²⁾、高橋 禎人²⁾、西 八嗣²⁾、横森 弘昭⁴⁾、
小林 憲忠¹⁾

1) 北里大学メディカルセンター 研究センター、2) 北里大学メディカルセンター 外科、
3) 北里大学メディカルセンター 病理部、4) 北里大学メディカルセンター 総合内科

08-4 抗がん剤 Gemcitabine 耐性マウス膵癌細胞の樹立とその解析

○梅本 陵平(うめもと りょうへい)¹⁾、清水 一也¹⁾²⁾、鶴田 大生¹⁾、角井 祐介¹⁾、
竹垣 普恵¹⁾、西村 綾乃¹⁾、三好 真琴¹⁾、堀 裕一¹⁾

1) 神戸大学大学院 保健学研究科、2) 国立病院機構神戸医療センター・内科

08-5 膵癌癌性腹水由来 exosome 中 CD133 に対する糖鎖修飾は予後予測の バイオマーカーとなり得る

○阪上 尊彦(さかうえ たかひこ)¹⁾、古賀 浩徳¹⁾、岩本 英希¹⁾、中村 徹¹⁾、安倍 満彦¹⁾、
増田 篤高¹⁾、田中 俊光¹⁾、太田 啓介²⁾、中村 桂一郎²⁾、鳥村 拓司¹⁾

1) 久留米大学 医学部 内科学講座 消化器内科部門、
2) 久留米大学 医学部 解剖学講座 顕微解剖・生体形成部門

08-6 進行肺腺癌組織における N 型糖鎖修飾の違いと予後の関係

○中西 陽子(なかにし ようこ)¹⁾、西巻 はるな¹⁾、廣谷 ゆかり²⁾、辻野 一郎³⁾、
高橋 典明³⁾、権 寧博³⁾、増田 しのぶ¹⁾

1) 日本大学 医学部 腫瘍病理学分野、2) 日本大学 医学部 人体病理学分野、
3) 日本大学 医学部 呼吸器内科学分野

一般演題9 10:30～11:00

[呼吸器、消化器 2]

座長：大野 伸彦(自治医科大学解剖学講座組織学部門)

馬場 良子(産業医科大学解剖学)

コメンテーター：塚田 信廣(東京都済生会向島病院)

09-1 ヒト呼吸器上皮細胞における増悪関連遺伝子 HMGB1 の上皮バリア機能分子に おける影響

○小寺 祐貴(こでら ゆうき)¹⁾²⁾、金野 匠¹⁾、垣内 晃人¹⁾³⁾、大和田 築¹⁾³⁾、新井 航¹⁾⁴⁾、
幸野 貴之¹⁾、高橋 弘毅²⁾、小島 隆¹⁾

1) 札幌医科大学 フロンティア医学研究所 細胞科学部門、
2) 札幌医科大学 呼吸器アレルギー内科学講座、3) 札幌医科大学 耳鼻咽喉科学講座、
4) 札幌医科大学 呼吸器外科学講座

09-2 Trastuzumab+SOX (oxaliplatin, S-1) 療法が奏功し病理学的完全寛解に至った 肝転移を有する HER2 陽性胃癌

○大澤 浩(おおさわ ひろし)¹⁾、寺田 総一郎²⁾

1) 社会福祉法人 仁生社 江戸川病院 腫瘍血液内科、
2) 社会福祉法人 仁生社 江戸川病院 健診センター・内視鏡センター

09-3 大腸腺癌の micropapillary carcinoma (mpc) 成分の heterogeneity とその成り立ちについて

○大舘 祐治(おおつき ゆうじ)¹⁾、倉林 睦²⁾、村上 一郎²⁾、降幡 睦夫²⁾

1) 一般財団法人 永頼会 松山市民病院、2) 高知大学教育研究部 医療学系連携医学部門(病理学講座)

一般演題10 11:00～11:50

[造血器、免疫、その他]

座長：千田 隆夫(岐阜大学)

山本 直樹(藤田保健衛生大学研究支援推進センター 再生医療支援推進施設)

コメンテーター：山崎 等(北里大学メディカルセンター 病理)

010-1 持続する発熱と関節痛を呈した plasma cell type Castleman 病の一例

○高橋 かおり(たかはし かおり)¹⁾、島田 芳隆²⁾、長場 泰²⁾、山崎 等³⁾、横森 弘昭²⁾

1) 北里大学メディカルセンター 内科(Resident)、2) 北里大学メディカルセンター 総合内科、

3) 北里大学メディカルセンター 病理

010-2 ヒト末梢血単球由来 iPS 細胞から分化誘導した樹状細胞の機能解析

○平松 範子(ひらまつ のりこ)¹⁾²⁾、山本 直樹²⁾、磯谷 澄都³⁾、近藤 征史³⁾、今泉 和良³⁾

1) 藤田保健衛生大学 大学院医学研究科、

2) 藤田保健衛生大学 研究支援推進センター 再生医療支援推進施設、

3) 藤田保健衛生大学 医学部 呼吸器内科学

010-3 一次線毛を伸長した基底小体に付随する striated rootlet の断片化について

○萩原 治夫(はぎわら はるお)

帝京大学 医学部 解剖学講座

010-4 平滑筋ミオシン作用薬による活性制御機構と分子形態変化

○田中 秀幸(たなか ひでゆき)、中倉 敬、西島 良美、有澤 謙二郎、井上 卓俊、

猫沖 陽子、宮下 俊雄、萩原 治夫

帝京大学 医学部 解剖学講座

010-5 芍薬甘草湯による薬剤性起因性自己免疫性肝炎、原発性胆汁性胆管炎オーバーラップ症候群の一例 ―超微形態学的観察から

○眞部 優作(まなべ ゆうさく)¹⁾、渡邊 真彰¹⁾、木田 光広¹⁾、山崎 等²⁾、横森 弘昭³⁾

1) 北里大学メディカルセンター 消化器内科、2) 北里大学メディカルセンター 病理、

3) 北里大学メディカルセンター 総合内科

LS-3 C型肝炎／肝硬変への基礎的、臨床的アプローチの実際

河田 則文（かわだ のりふみ） 大阪市立大学大学院 医学研究科肝胆脾病態内科学

共催：MSD 株式会社

会 長 講 演

動物のヘリコバクター friend or foe

中村 正彦(なかむら まさひこ)

北里大学 薬学部 臨床薬学研究・教育センター 病態解析学

本邦では2014年2月に、ピロリ菌(Hp)陽性慢性胃炎に対する除菌が保険適応となり、“ピロリ菌の国民総除菌時代”に突入した。Hp抗体、pepsinogen値を用いたABC分類も広く用いられるようになり、上部消化管疾患の多くは、かなりクリアカットに理解、説明できるようになったと考えられる。しかし、実臨床ではrapid urease testやurea breath test陰性の慢性胃炎、鳥肌胃炎に遭遇すること、それに関連したABC分類における偽A群問題、Hp陰性胃MALTリンパ腫に対するHp除菌療法の有効性などHp単独犯行説では説明が難しいケースが散見され、その際の解釈のひとつとして、non-*Helicobacter pylori* *Helicobacter* (NHPH)の注目度が増加しつつある。

NHPHは、当初は人においてはHp感染に対して防御的に働く可能性が指摘され、伴侶動物としての犬、猫の意義が注目されたが、その後ヒトに対して病原性がある人獣共通感染症出あることが明らかとなり、*Helicobacter suis* (*H. suis*)は豚、*Helicobacter heilmannii*は、犬、猫に感染率が高いことが報告されている。

われわれは、1991年都衛生研究所の伊藤武、杏林大学の高橋信一らによりカニクイザルの胃粘膜内からC3H mouseに感染させ維持されてきたurease陽性菌を*H. suis*と同定し、さらにC57BL/6 mouseに持続感染させることにより、胃マルトリンパ腫が高率に発生し、肝臓、肺にも同様な病変が認められ、また唾液腺、涙腺にもSjogren症候群様の変化が観察されることを報告した。

本邦における最初のNHPH陽性症例の報告は、1994年の弘前大学の田中らによる上腹部痛を伴った66歳男性の症例に関するもので、われわれは、PCR法を用いた全国調査を行い、胃MALTリンパ腫、鳥肌胃炎、胃潰瘍、十二指腸潰瘍症例で陽性者を認め、さらにHp陰性症例に限っては、慢性胃炎、鳥肌胃炎、胃MALTリンパ腫いずれも30%以上にNHPH陽性を認めており、従来考えられていたより高率にこの感染症が広がっていると考えられた。一方、胃がんと関連についての報告はHpとの混合感染例で認められたとするもののみで、分化型腺癌の発生母地とされる萎縮性胃炎の形成がNHPHではまれであることから、否定的と考えられていたが、最近、東京大学の野村らとの共同研究において韓国のABC分類のA群から発生した胃癌症例のなかにNHPH陽性症例が認められた。

今後の課題は、PCR法より簡便な診断法の確立である。われわれは、NHPHのひとつである*H. suis*のVacに対する抗体を作成し、これを用いたELISA法の結果がPCR法と相関することを認めており、今後この抗体を用いた本邦および全世界における感染実態の解明と疾患との関連性を解明することが、post-Hp eraにおける大きな目標となってきた。



中村 正彦（なかむら まさひこ） 略歴

昭和53年3月	慶應義塾大学医学部 卒業
昭和53年4月	第65回医師国家試験 合格
昭和57年3月	慶應義塾大学大学院医学研究科 卒業
昭和57年4月	慶應義塾大学医学部 助手（専修医）（内科学）
昭和59年4月	東京電力病院 内科 出向
昭和63年4月	慶應義塾大学 講師（非常勤）（医学部内科）
平成11年4月	北里研究所基礎研究所 研究員、臨床薬理研究所 医師
平成12年4月	慶應義塾大学医学部 客員助教授
平成16年4月	北里大学薬学部 臨床薬学研究センター病態解析部門 助教授
平成18年4月	北里大学薬学部 臨床薬学研究・教育センター病態解析学 准教授

Blank lined paper with horizontal dashed lines for writing.

第50回日本臨床分子形態学会総会・学術集会

協賛一覧

第50回日本臨床分子形態学会総会・学術集会の開催にあたり、多くの皆様からのご支援とご協力をいただきました。ここに厚く御礼申し上げます。

第50回日本臨床分子形態学会総会・学術集会

会 長 中村 正彦

副会長 寺田総一郎

事務局長 横森 弘昭

ランチョンセミナー共催

アストラゼネカ株式会社

MSD 株式会社

アッヴィ合同会社

第一三共株式会社

広 告

アッヴィ合同会社

沢井製薬株式会社

アステラス製薬株式会社

塩野義製薬株式会社

あすか製薬株式会社

シスメックス株式会社

EA ファーマ株式会社

ゼリア新薬工業株式会社

イーディーピーアシスタント株式会社

武田薬品工業株式会社

MSD 株式会社

中外製薬株式会社

株式会社 LSI メディエンス

東ソー株式会社

キッセイ薬品工業株式会社

一般社団法人日本血液製剤機構

キヤノンメディカルシステムズ株式会社

ノーベルファーマ株式会社

ギリアド・サイエンシズ株式会社

株式会社 日立ハイテクノロジーズ

杏林製薬株式会社

富士フイルムメディカル株式会社

グラクソ・スミスクライン株式会社

マイラン EPD 合同会社

展 示

株式会社有隣堂

株式会社 日立ハイテクノロジーズ

株式会社花市電子顕微鏡技術研究所

ボルボ・カー・ジャパン株式会社

寄 付

アステラスアカデミックサポート

大日本住友製薬株式会社

医療法人社団慈光会八木病院

ファイザー株式会社

医療法人社団聖心会阪本病院

(平成30年8月現在、敬称略、企業名五十音順)

第50回日本臨床分子形態学会総会・学術集会
講演プログラム・要旨集

発行日：2018年8月

会 長：中村 正彦

事務局：北里大学薬学部 臨床薬学研究・教育センター 病態解析学
〒108-8641 東京都港区白金5-9-1
TEL：03-3446-9036 FAX：03-3446-9036
E-mail：50thjscmm@mbr.nifty.com

出 版：株式会社セカンド
〒862-0950 熊本市中央区水前寺4-39-11 ヤマウチビル1F
TEL：096-382-7793 FAX：096-386-2025
<https://secand.jp/>